

HP Anyware導入ガイド



株式会社日本HP
2025年3月

本資料について

本資料は、HP Anywareのダウンロード、インストールと接続手順などについて記述したものです。バージョン24.10(Windows版)を基準としておりますので、今後のバージョンアップにより、手順やスクリーンショットが異なってくる可能性があります。また、内容に齟齬がある場合は原文が優先いたします。

各機能等の詳細につきましては、以下リンク先の製品マニュアルをご参照下さい。

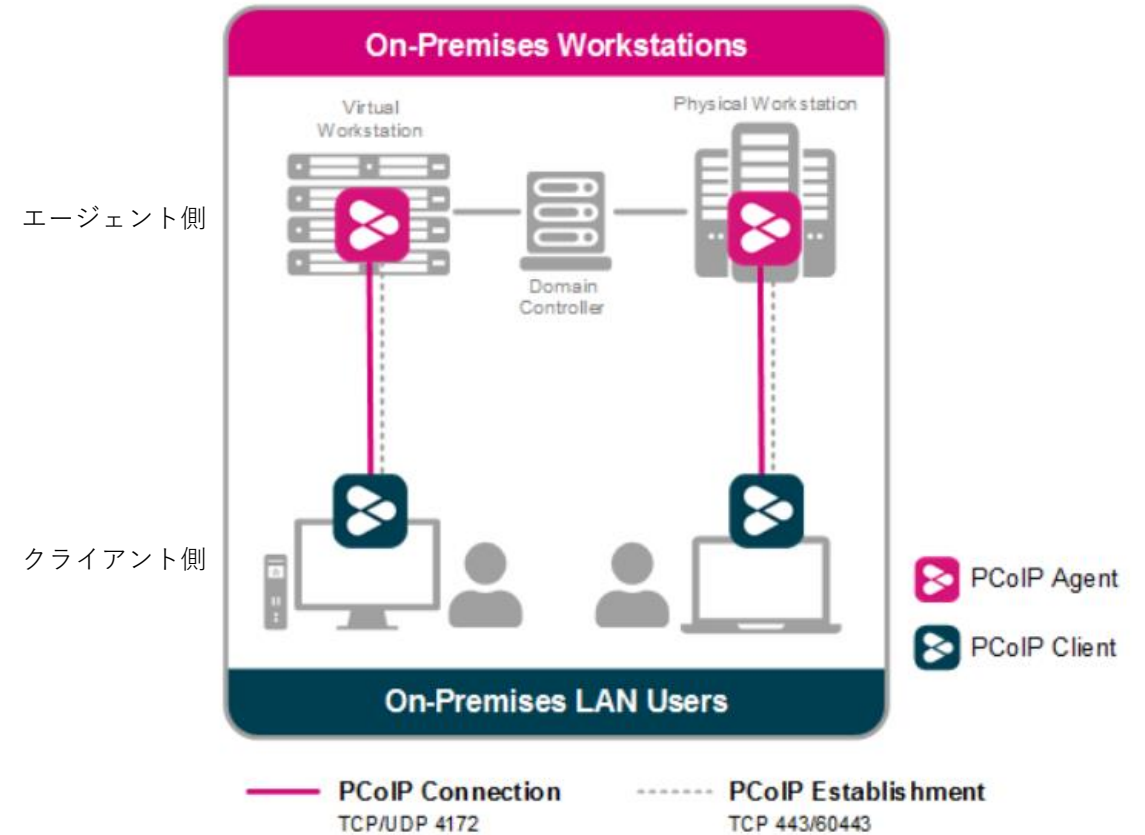
[Anywareグラフィックエージェント](#)

[Anywareクライアント](#)

Anywareの動作の流れ

1. AnywareクライアントからAnywareエージェントへ接続要求を行います。
2. エージェントのユーザー名とパスワードで認証します。認証を通過すると接続を確立します。
3. エージェントでエンコードと暗号化、圧縮を行い、デスクトップ画面をクライアントへ送信します。
4. クライアントでデコードと復号化、展開を行い、デスクトップ画面を表示します。
5. クライアントでキーボード・マウス操作を行うと、エージェントのデスクトップへ反映されます。

接続構成図(直接接続)



HP Anywareのライセンス種別について

HP Anywareには以下のライセンスがあり、違いは下表のとおりです。

| ライセンス種別 | インストールするエージェント | 特徴 | 想定ユーザー | 対応業務 |
|-------------------------|--------------------|----------------------|------------------------|--------------------------------|
| HP Anyware Professional | グラフィックエージェント ※1 | CPU/GPUエンコーディングが利用可能 | アーティスト、ゲームクリエイター、デザイナー | CAD/CAM(3D含む)、ビデオ編集、ポストプロダクション |
| HP Anyware Standard | スタンダードエージェント ※2 | CPUエンコーディングが利用可能 | オフィスワーカー | Webブラウジング、Office、テキスト編集 |
| Desktop Access | - | ゼロクライアントのF/Wアップグレード権 | ゼロクライアントのユーザー | ゼロクライアントでの仮想デスクトップ環境利用 |

※1 対応GPUが搭載されていること

※2 仮想(VMware ESXi、KVM)およびクラウド環境に対応

システム要件 - エージェント

エージェントのシステム要件は、以下のリンクをご参照下さい。

■ グラフィックエージェント

[Windows](#)

[Linux](#)

[Mac](#)

※対応GPUが搭載されていること

■ スタンダードエージェント

[Windows](#)

[Linux](#)

※仮想環境(Vmware ESXiなど)のみ対応。物理マシンでの動作には制限あり。

※Mac版のスタンダードエージェントはありません。

システム要件 – クライアント

クライアントのシステム要件は、以下のリンクをご参照下さい。

■ クライアント

[Windows](#)

[Linux](#)

[Mac](#)

- Celeron搭載機は推奨いたしません（パフォーマンスが著しく低下します）
- AVX2命令セットがサポートされていること
- 1920 x 1080 のデュアルディスプレイ構成の場合、1.6 GHz デュアルコアプロセッサまたはそれ以上、少なくとも 4 GB RAM を推奨しています。
- 4K/UHD のデュアルディスプレイの場合、3.0 GHz 以上のクアッドコアプロセッサと 8GB 以上のデュアルチャンネル RAM を推奨しています。
- 4K/UHD でのCAD等のワークロードには、デュアルメモリーバンクを備えた Intel第8世代（またはそれ以降）のCore i5/i7プロセッサが必要です。

Anywareのダウンロード – 準備

Webブラウザを開いて [こちら](#) へアクセスし、Create an accountをクリックしてアカウントを作成します。

Having difficulties logging in?
Please report the issue here

hp Anyware

Email

Password

Log in

Forgot your password? | **Create an account**

Teradici Sales and Support employees? Login here

Anywareのダウンロード - 1

インストールするソフトウェアとインストールするマシンは、それぞれ以下のとおりです。

| ソフトウェア | インストールするマシン |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| グラフィックエージェント または スタンダードエージェント | リモート接続を受ける側のマシン (ワークステーション等) |
| クライアント | リモート接続をしに行く側のマシン (自宅PC等) |

Anywareのダウンロード - 2

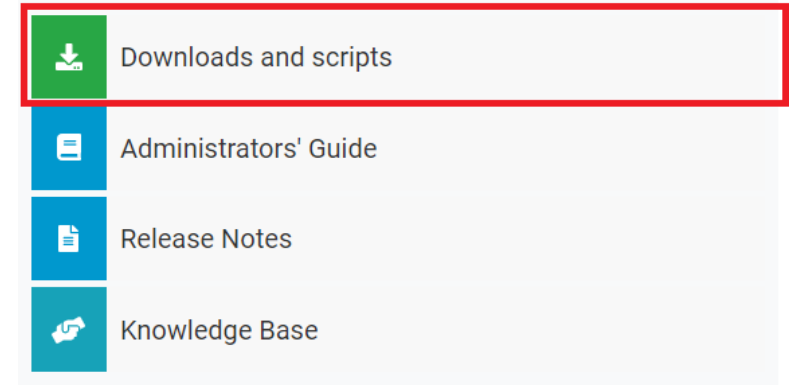
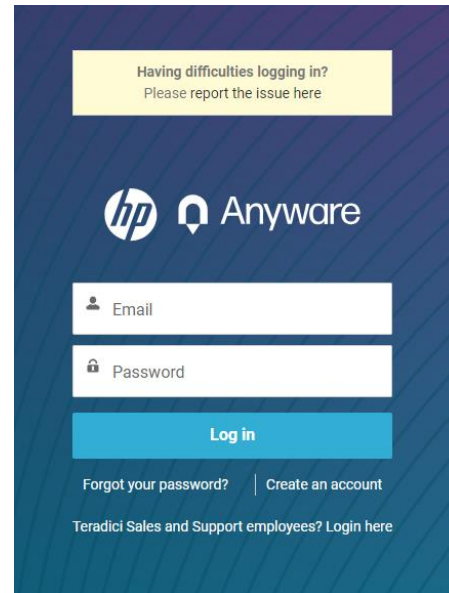
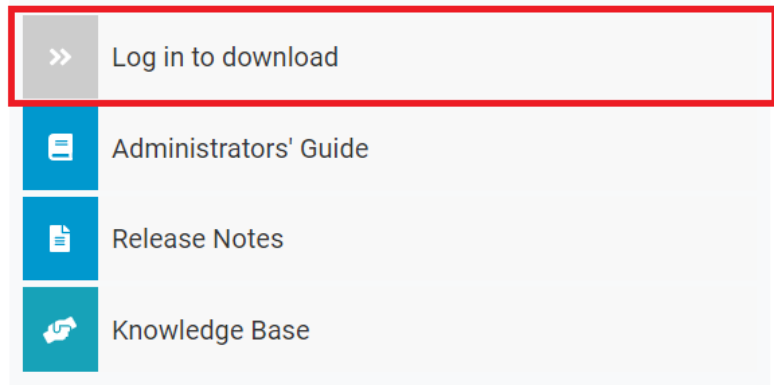
Webブラウザを開いて [こちら](#) へアクセスすると、ダウンロードサイトへ移動しますので、ダウンロードするコンポーネントのアイコンをクリックします。

The screenshot displays the Anyware download page, organized into two main sections: PCoIP Hosts and PCoIP Clients. Each section contains a list of available software components with their respective operating system icons and version numbers.

| Section | Component Name | OS | Version |
|---------------|---|---------|---------|
| PCoIP Hosts | Graphics Agent for Windows | Windows | 24.10 |
| | Graphics Agent for Linux | Linux | 24.10 |
| | Graphics Agent for macOS | macOS | 24.10 |
| | Standard Agent for Windows | Windows | 24.10 |
| | Standard Agent for Linux | Linux | 24.10 |
| PCoIP Clients | Software Client for Windows | Windows | 24.10 |
| | Software Client for Linux | Linux | 24.10 |
| | Software Client for macOS | macOS | 24.10 |
| | Mobile Client for Android Tablets and Chromebooks | Android | 24.07 |
| | Mobile Client for iOS Tablets | iOS | 24.07 |

Anywareのダウンロード - 3

画面右に表示されるポップアップから、Log in to download をクリックします。ログイン画面に遷移しますので、先の手順で作成したアカウントとパスワードでログインします。ログインに成功すると、Log in to download が緑に変わりますので、再度クリックします。



Anywareのダウンロード - 4

ライセンスに関する文言を確認し、Agreeをクリックします。最後までスクロールするとボタンが押せる状態になります。次の画面で Download Now ボタンをクリックします。

HP ANYWARE END-USER LICENSE AGREEMENT

End-User License Agreement

PLEASE READ CAREFULLY BEFORE USING THIS SOFTWARE OR SOFTWARE AVAILABLE ON AN HP PRODUCT:

This End-User license Agreement ("EULA") is a legal agreement between (a) you (either an individual or a single entity) and (b) HP Inc. ("HP") that governs your use of HP Anyware Software Product ("HP Anyware") installed on or

Accept the terms of this license agreement by scrolling through the text and clicking *Agree*.

Agree

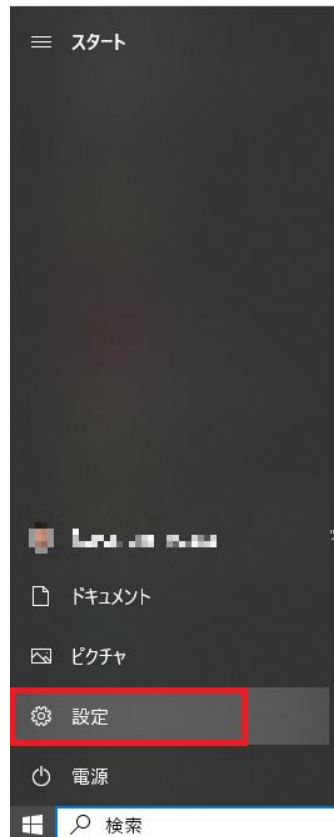


| exe | | pcoip-agent-graphics_24.07.3.exe |
|-----|-------------------------|----------------------------------|
| | Download now | SHA |
| | Download using a script | ▼ |

復元ポイントの作成 - 1

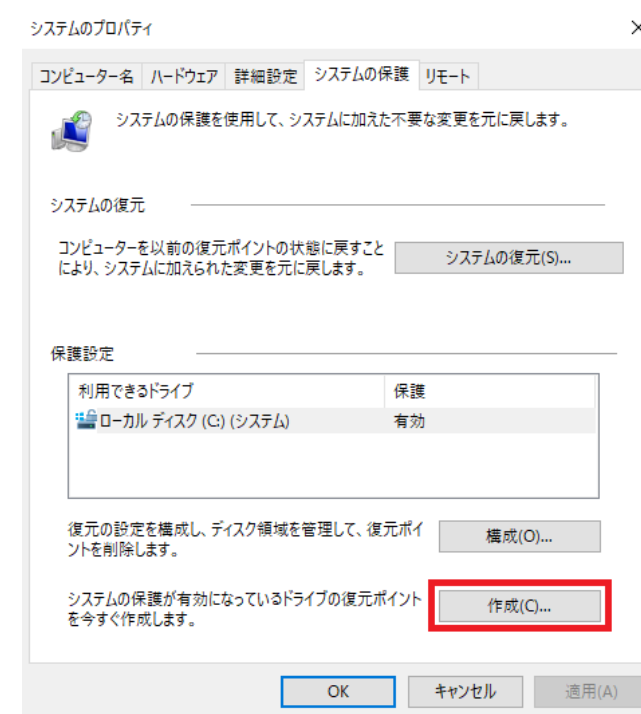
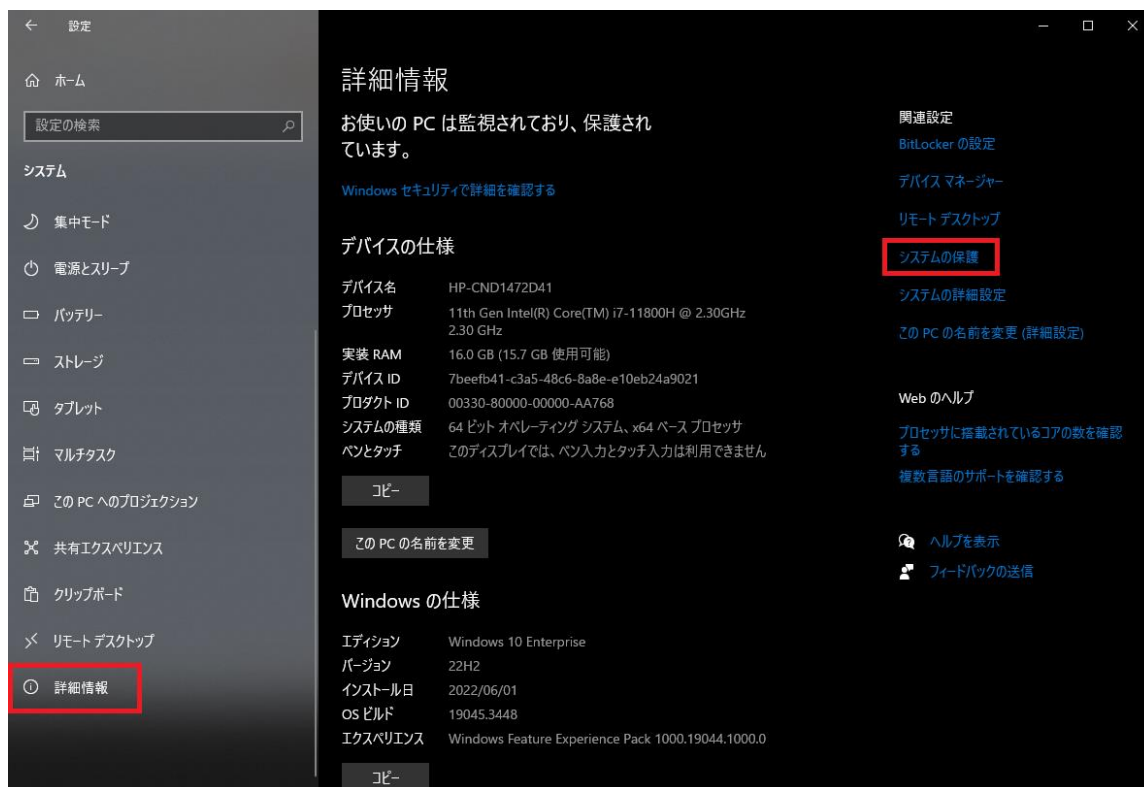
Anywareの使用中に予期しない事象が発生した場合に備え、インストールの直前に復元ポイントの作成を推奨します。以下にWindows 10での手順を示します。

1. Windowsのスタートメニューから「設定」をクリックします。
2. 「システム」をクリックします。



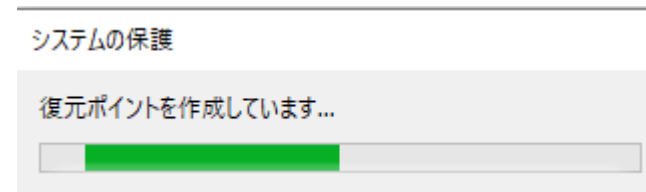
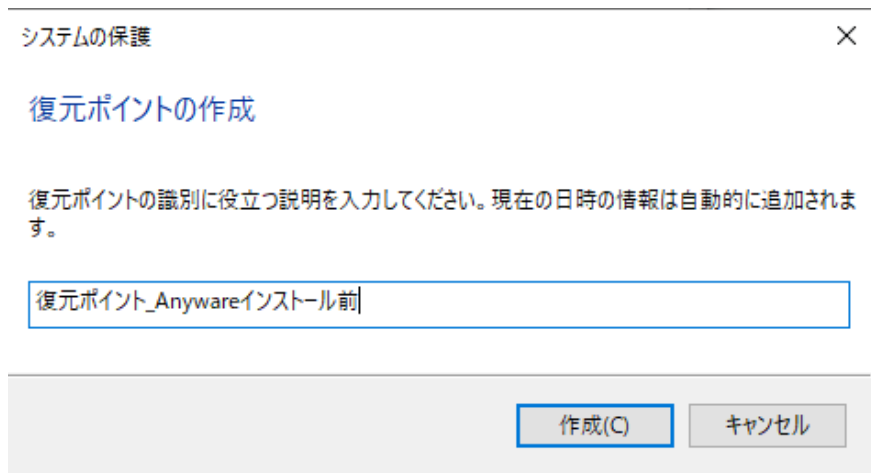
復元ポイントの作成 - 2

3. 左ペインの「詳細情報」をクリックし、右ペインの「システムの保護」をクリックします。
4. 「作成」をクリックします。



復元ポイントの作成 - 3

5. 復元ポイントの説明を入力し、「作成」をクリックします。
6. 復元ポイントの作成が行われます。



復元ポイントの作成 - 4

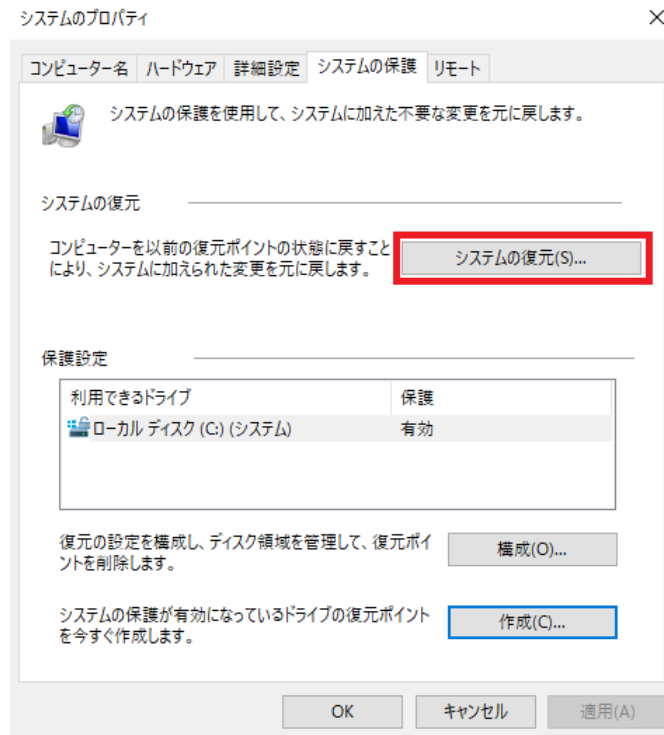
7. 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されるので、「閉じる」をクリックします。
8. 復元ポイントが作成された事を確認するため、「システムの復元」をクリックします。

システムの保護



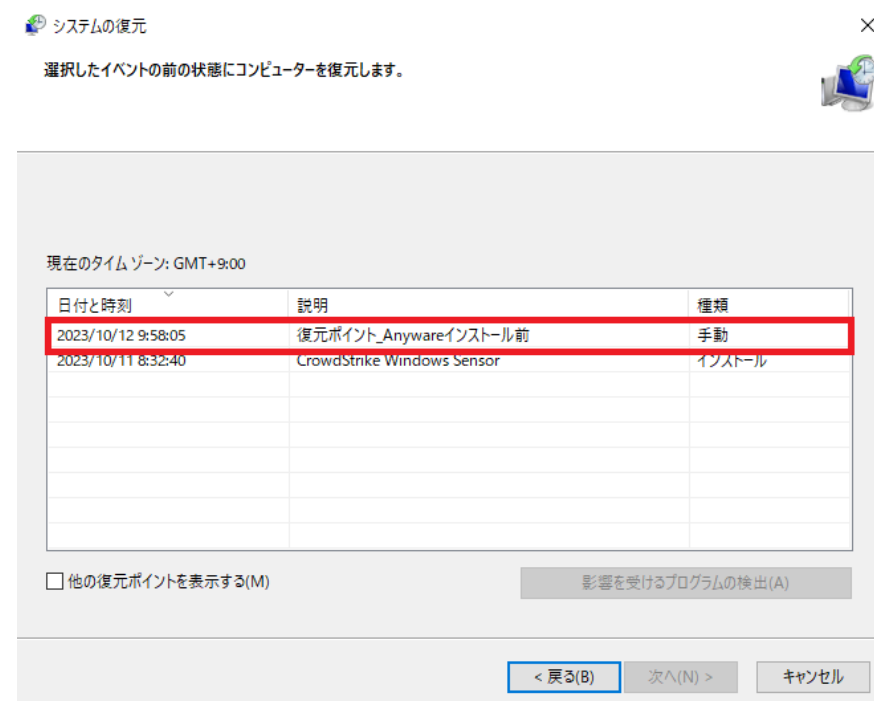
復元ポイントは正常に作成されました。

閉じる(O)



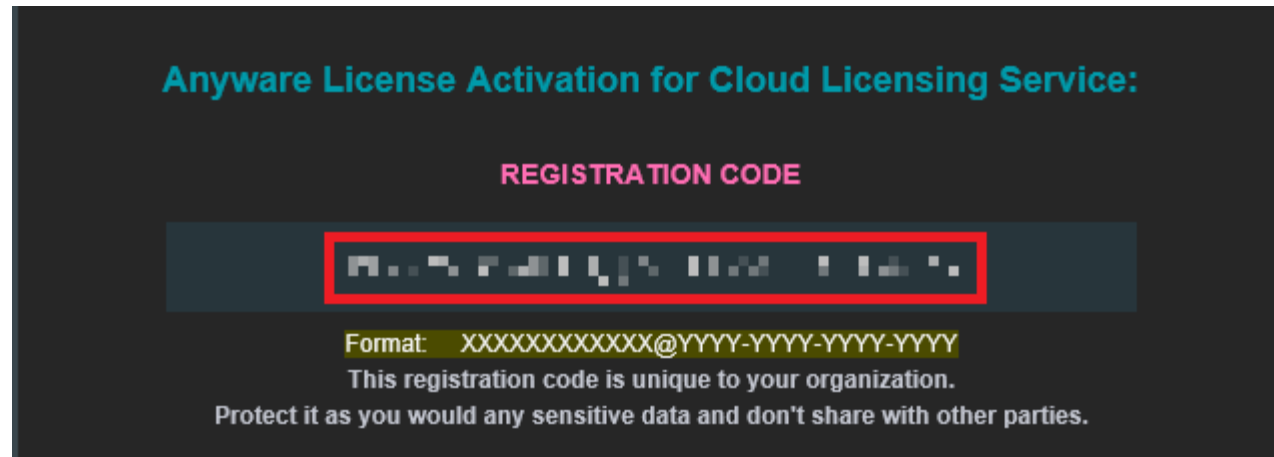
復元ポイントの作成 - 5

9. 「別の復元ポイントを選択する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
10. 先ほど作成した復元ポイントがリストにあることを確認し、「キャンセル」をクリックします。



レジストレーションコードの確認

レジストレーションコードはライセンスキーに相当し、途中に@を含んだ文字列です。
ライセンスメールの、REGISTRATION CODE 欄に記載されています。
エージェントのインストール時に必要ですので、参照可能な状態にしておいて下さい。



Anywareエージェントが使用するネットワークポート

Anywareエージェントは以下のネットワークポートを使用します。
通信方向は、Anywareエージェントのマシンから見た通信方向です。
Windowsファイアウォールのこれらのポートは、Anywareエージェントのインストール時に自動的に開放されますが、サードパーティ製のセキュリティソフトやファイアウォールをお使いの場合は、これらのポートの開放も行って下さい。

| 通信方向 | プロトコル/ポート | 説明 |
|---------|-----------------|---------------|
| インバウンド | TCP 443 | クライアント認証 |
| アウトバウンド | TCP 443 | クラウドライセンス認証 |
| インバウンド | TCP 4172 | PCoIPセッション確立 |
| 双方向 | UDP 4172 | PCoIP通信 |
| インバウンド | TCP 60443 | コネクションブローカー通信 |
| 双方向 | UDP 64172~64176 | コラボレーション機能 |

注意 - エージェントのIPアドレスについて

エージェントとして使用するマシンのIPアドレスは、固定IPアドレスを指定して下さい。

DHCP(自動取得)にしてしまいますと、マシンの再起動などによってIPアドレスが変わってしまう場合があります、クライアントからの接続ができなくなってしまいます。

注意 – クラウドライセンスサーバーについて

クラウドライセンスサーバーは、以下URLの説明に記載された場所に設置されています。エージェントマシンからこれらのドメイン名、IPアドレスへの通信が許可されている事をご確認下さい。(会社のファイアウォール等で禁止されている場合があります。)

使用するポートはTCP 443(SSL)です。

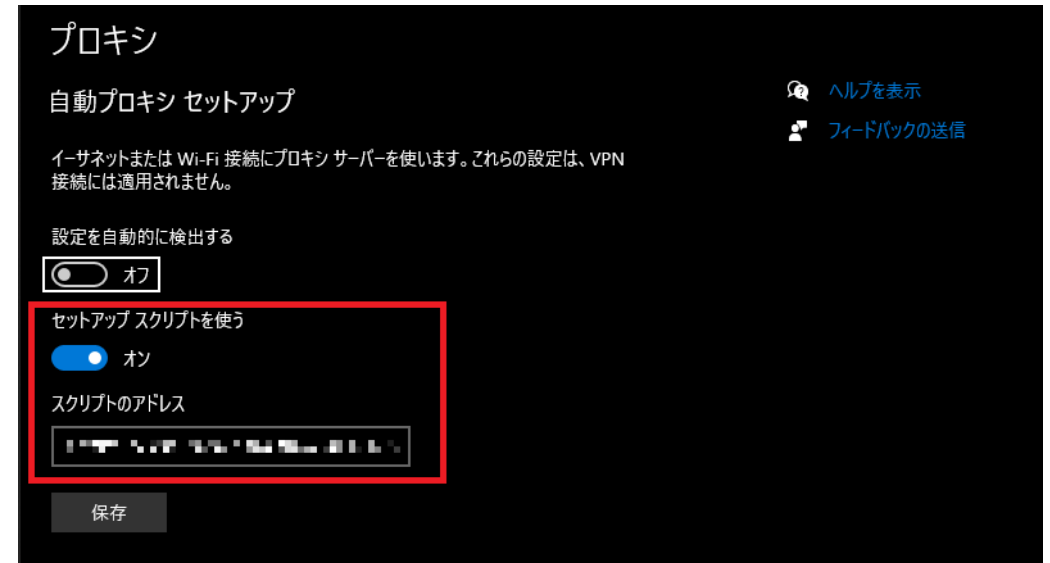
https://anyware.hp.com/components/graphics-agent-for-windows/24.10/documentation/administrators-guide/installation-guide/licensing-the-agent#using_hp_anyware_cloud_licensing

注意 – プロキシの自動構成スクリプト (PAC) について

エージェントマシンが、セットアップスクリプト(PAC)を使用してインターネットへ接続している場合、Anywareでは対応しておらず、クラウド上のライセンスサーバーへ到達できないため、ライセンス認証が正常に行えません。

回避策は、以下のいずれかになります。

- セットアップスクリプトではなく、固定(静的)のプロキシサーバーを指定する。
- プロキシサーバーを使用せず、直接インターネットへ接続可能な環境とする。
- ローカルライセンスサーバー認証とする。(ライセンスサーバーの構築が必要です。)

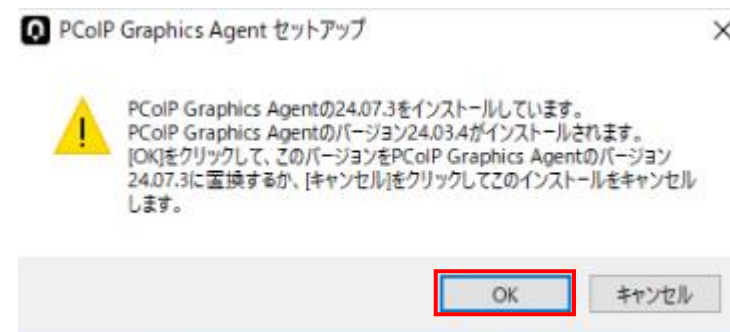
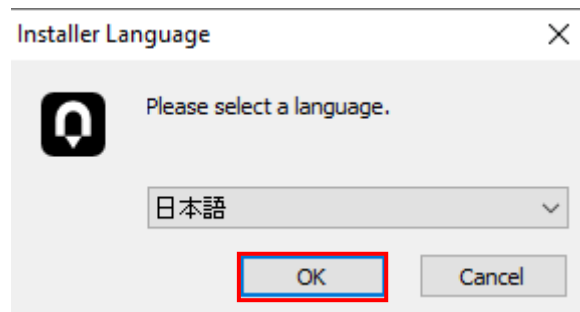


エージェントのインストール - 1

ダウンロードした「pcoip-agent-graphics_[バージョン].exe」を管理者として実行します。インストールウィザードが起動します。

「Installer Language」の画面で「日本語」を選択して「OK」をクリック。

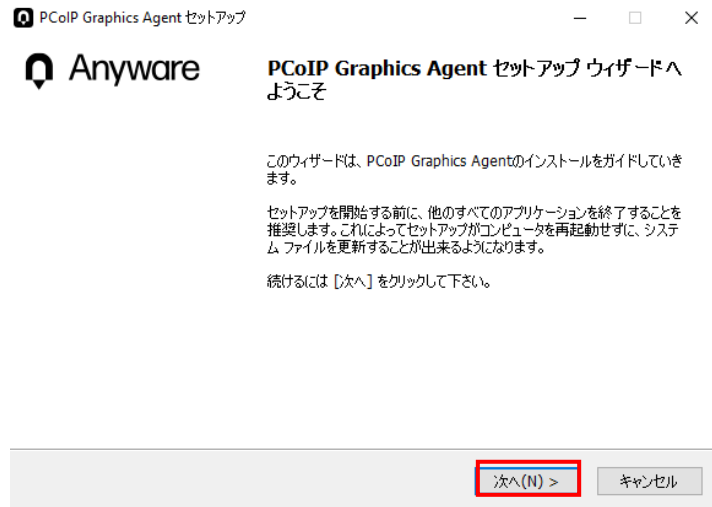
別のバージョンが既にインストールされている場合は、右の警告画面が表示されますので、「OK」で上書きインストールするか「キャンセル」でインストールを中断します。



エージェントのインストール - 2

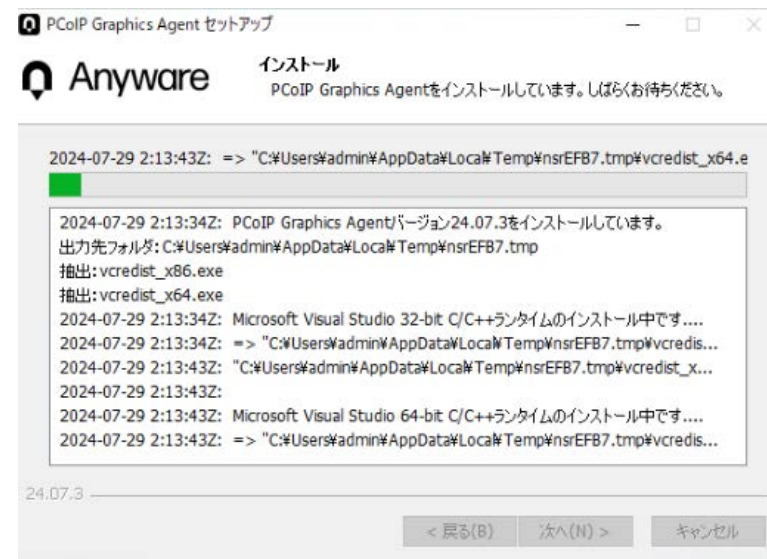
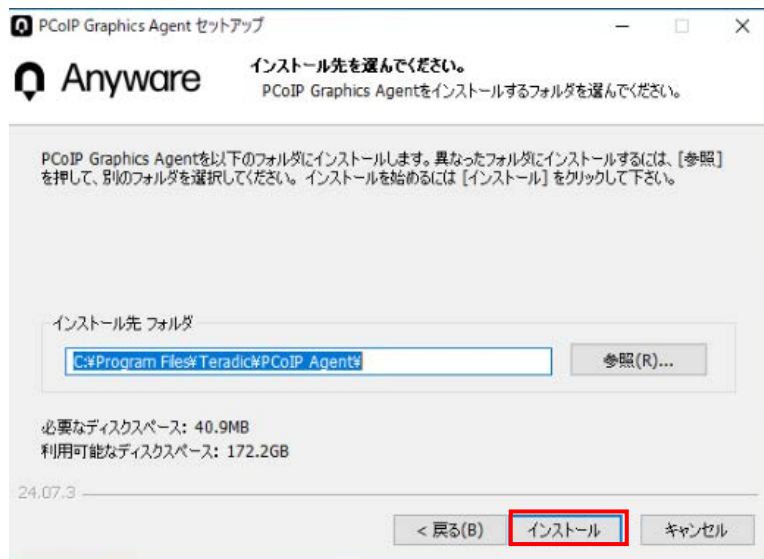
セットアップウィザードへようこそ 画面で「次へ」をクリック。

ライセンス契約書の内容を確認し、「同意する」ボタンをクリックします。



エージェントのインストール - 3

インストール先のフォルダを「参照」ボタンで選択し「インストール」をクリックすると、インストールを開始します。



エージェントのインストール - 4

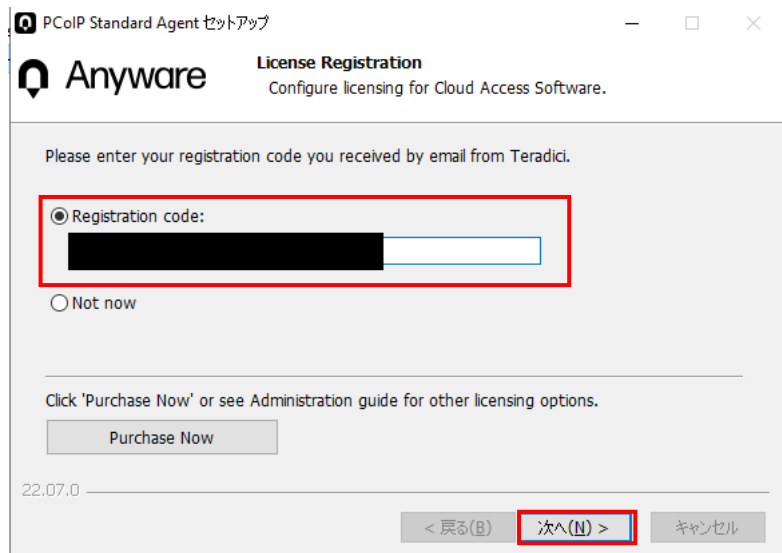
レジストレーションコードを入力し、「次へ」をクリックします。レジストレーションコードは、Anywareの購入時にメールで通知される文字列で、以下の形式です。

XXXXXXXXXXXX@XXXX-XXXX-XXXX-XXXX → 途中に@を含む文字列です。xの部分はお客様ごとに異なります。

プロキシサーバーを使用していない場合、右画面では何も入力せずに「次へ」をクリックします。

(注意)

エージェントマシンがプロキシサーバーを使用してインターネットへ接続している場合は、ここではレジストレーションコードを入力せず、「Not now」を選択して一旦インストールを終わらせ、後の手順に従ってプロキシサーバーの情報を設定して下さい。(ここで設定しても反映されない不具合が確認されております。)



PCoIP Standard Agent セットアップ

Anyware License Registration
Configure licensing for Cloud Access Software.

Please enter your registration code you received by email from Teradici.

Registration code:
[Redacted registration code]

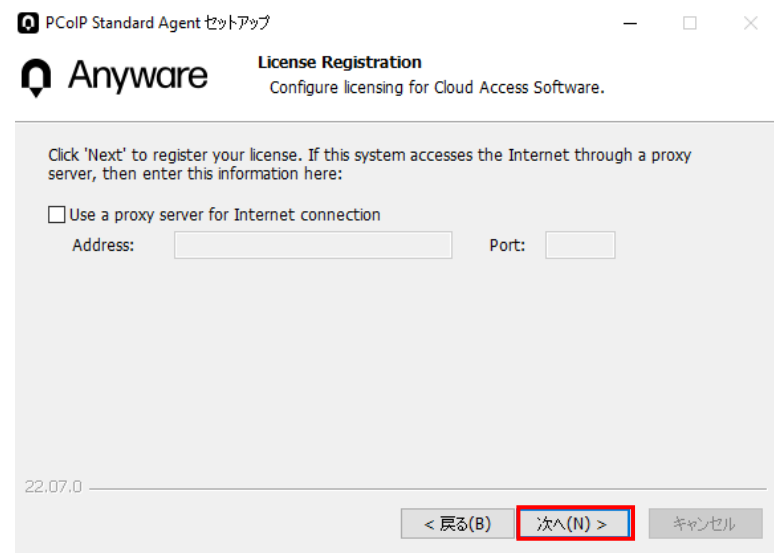
Not now

Click 'Purchase Now' or see Administration guide for other licensing options.

Purchase Now

22.07.0

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル



PCoIP Standard Agent セットアップ

Anyware License Registration
Configure licensing for Cloud Access Software.

Click 'Next' to register your license. If this system accesses the Internet through a proxy server, then enter this information here:

Use a proxy server for Internet connection

Address: [] Port: []

22.07.0

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

エージェントのインストール - 5

暫く待つと、以下の画面を表示しますので、「今すぐ再起動する」を選択してから「完了」ボタンをクリックして画面を閉じると、マシンが再起動されてインストールを完了します。

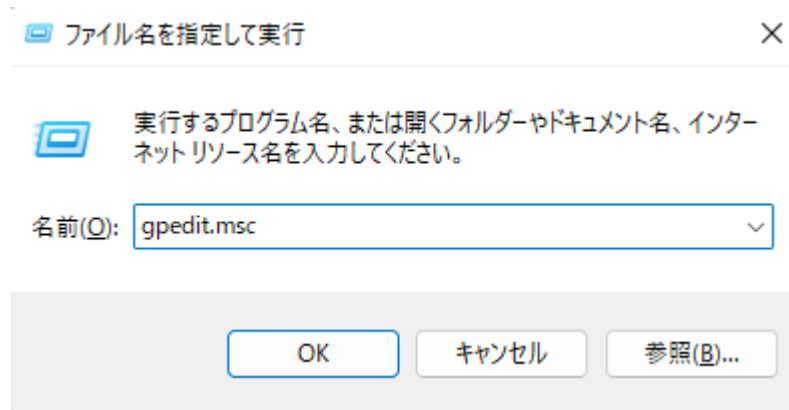
「後で手動で再起動する」を選択した場合も、初回の接続前までに必ず再起動を行って下さい。



プロキシサーバーの情報入力 - 1

エージェントマシンがプロキシサーバーを使用してインターネットへ接続している場合は、エージェントのインストール後、以下の手順に従ってプロキシサーバーの情報を入力します。

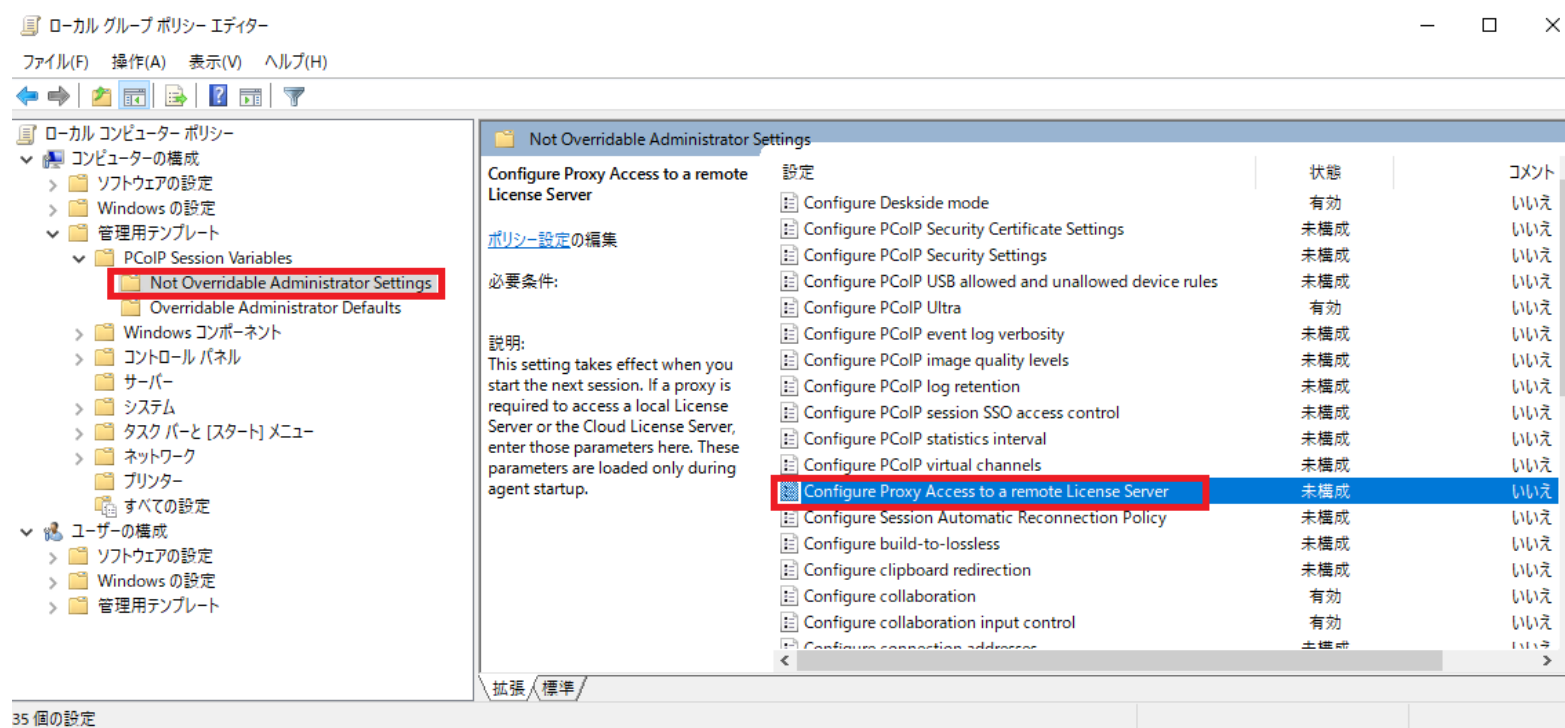
エージェントマシンへ管理者権限を持つユーザーでログインし、Windows + r キーを押してからgpedit.mscを実行します。



プロキシサーバーの情報入力 - 2

ローカルグループポリシーエディタが起動します。

左ペインのコンピュータの構成>管理用テンプレート>PCoIP Session Variables>Not Overridable Administrator Settingsをクリックした後、右ペインのConfigure Proxy Access to a remote License Serverをダブルクリックします。



プロキシサーバーの情報入力 - 3

「有効」をクリックしてから、下の入力欄にプロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力し、OKをクリックします。

グループポリシーエディタを終了し、エージェントのマシンを再起動します。

Configure Proxy Access to a remote License Server

前の設定(P) 次の設定(N)

未構成(C) コメント:

有効(E)

無効(D) サポートされるバージョン:

オプション:

ヘルプ:

Enter the proxy machine's name. Any specified protocol prefix (such as http://) is ignored

Enter the port used to access the proxy

0

This setting takes effect when you start the next session. If a proxy is required to access a local License Server or the Cloud License Server, enter those parameters here. These parameters are loaded only during agent startup.

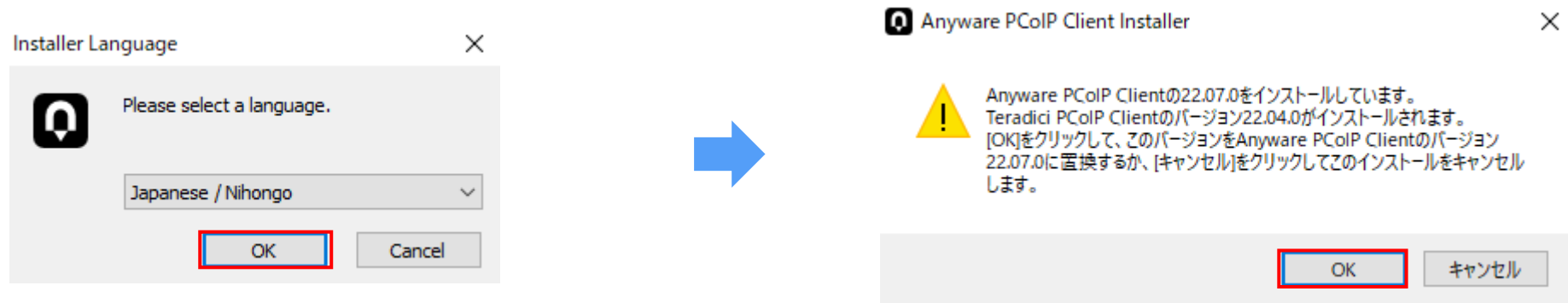
OK キャンセル 適用(A)

クライアントのインストール - 1

ダウンロードした「pcoip-client_[バージョン].exe」を管理者として実行します。インストールウィザードが起動します。

「Installer Language」の画面で「Japanese / Nihongo」日本語を選択して「OK」をクリック。

別のバージョンが既にインストールされている場合は、右の警告画面が表示されますので、「OK」で継続するか「Cancel」でインストールを中断します。



クライアントのインストール - 2

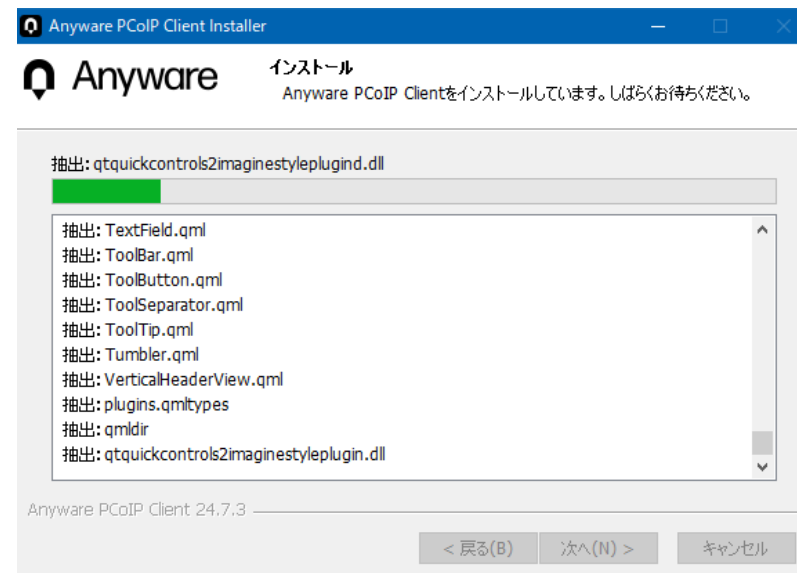
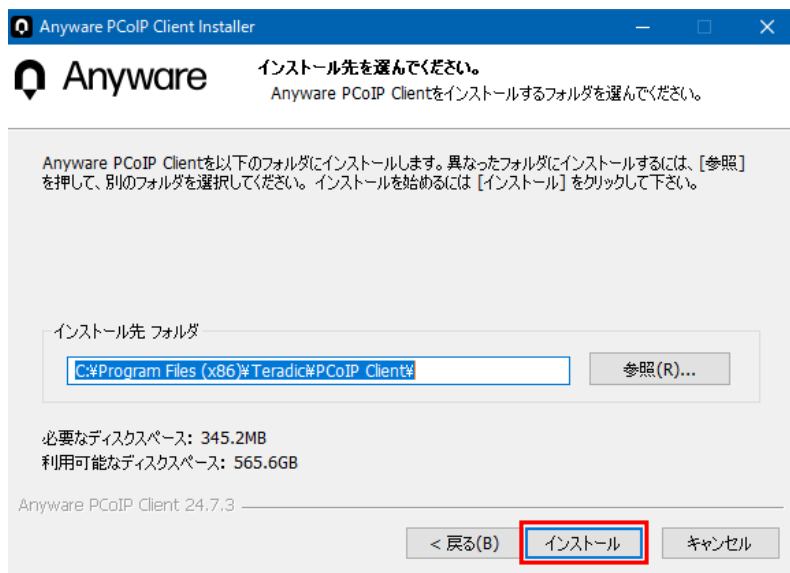
セットアップウィザードへようこそ 画面で「次へ」をクリック。

ライセンス契約書の内容を確認し、「同意する」ボタンをクリックします。



クライアントのインストール - 3

インストール先のフォルダを「参照」ボタンで選択し「インストール」をクリックすると、インストールを開始します。



クライアントのインストール - 4

暫く待つと、以下の画面を表示しますので、「完了」ボタンをクリックして画面を閉じるとインストール完了です。



インストールの注意点

同じマシンに、エージェントとクライアントの両方をインストールすることは推奨いたしませんので、お客様の責任においてご使用ください。

これまでに、予期しない挙動やパフォーマンスが低下するなどの問題が報告されています。

【推奨設定】 モニター情報復元 - 1

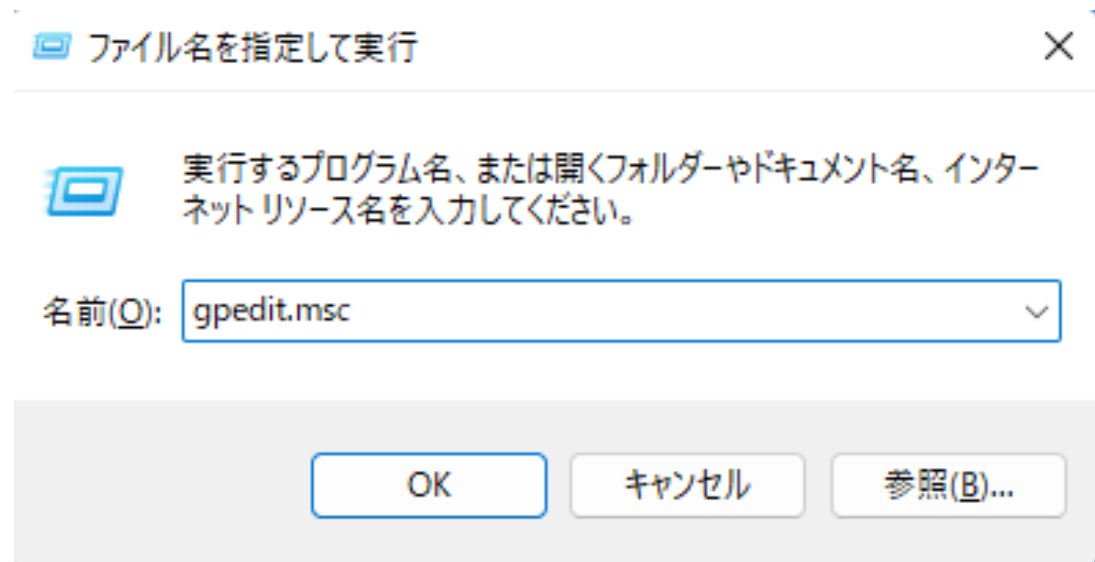
Anywareの接続中はクライアント側のディスプレイ情報（EDID）を強制的にエージェント側へ上書きする仕様のため、クライアント側で指定した解像度がエージェント側で対応していない状態のままセッションを終了してしまうと、エージェントマシンのローカルモニター表示が回復しない（黒画面のまま）場合があります。

そのため、モニター接続したワークステーションをリモートでもお使いの場合は、初回接続前に以下の設定変更を行って下さい。

【推奨設定】 モニター情報復元 - 2

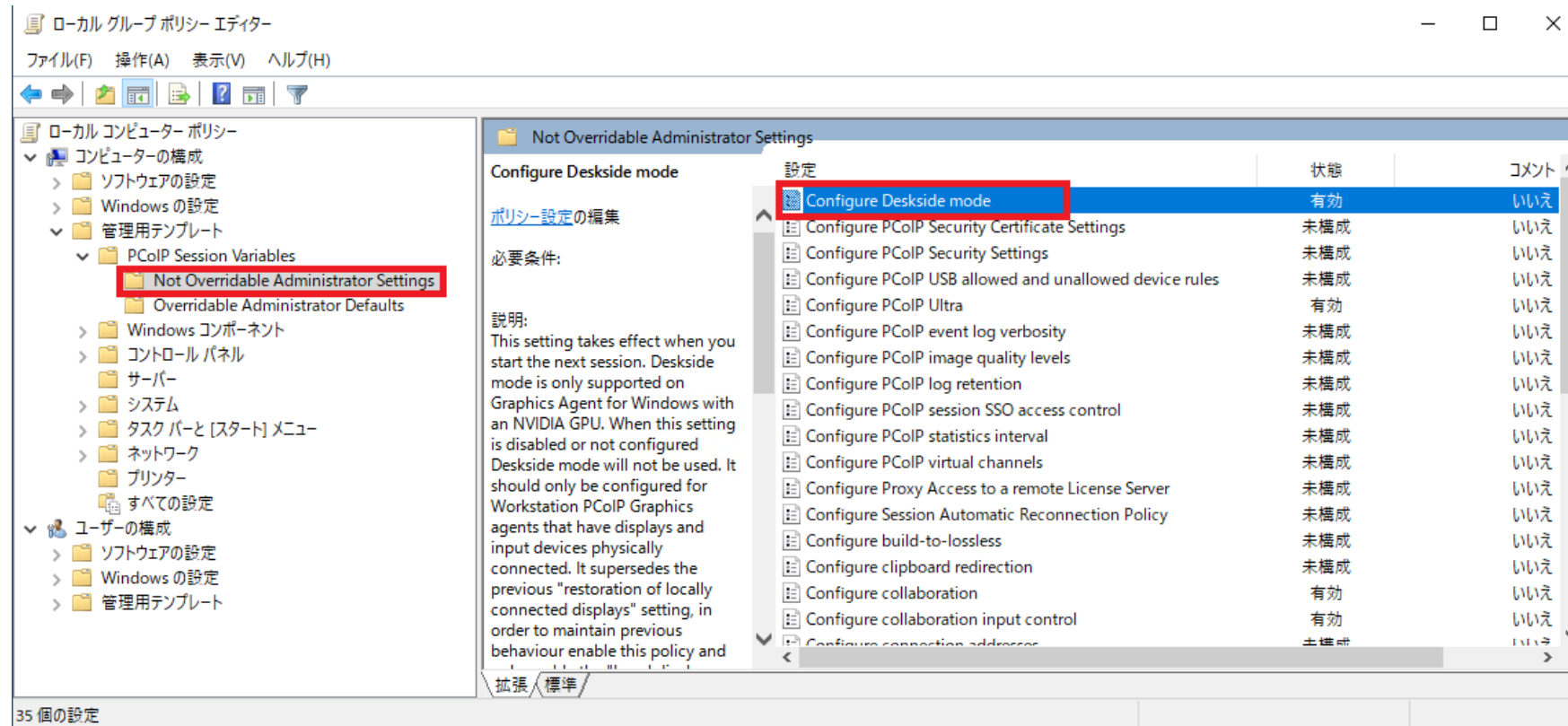
Anywareエージェントをインストールしたマシンへ管理者権限を持つユーザーでログインし、[Windows]+[r]キーを押すと以下の画面が開きますので、gpedit.mscを実行します。

→ 「ローカルグループポリシーエディター」が起動します。



【推奨設定】 モニター情報復元 - 3

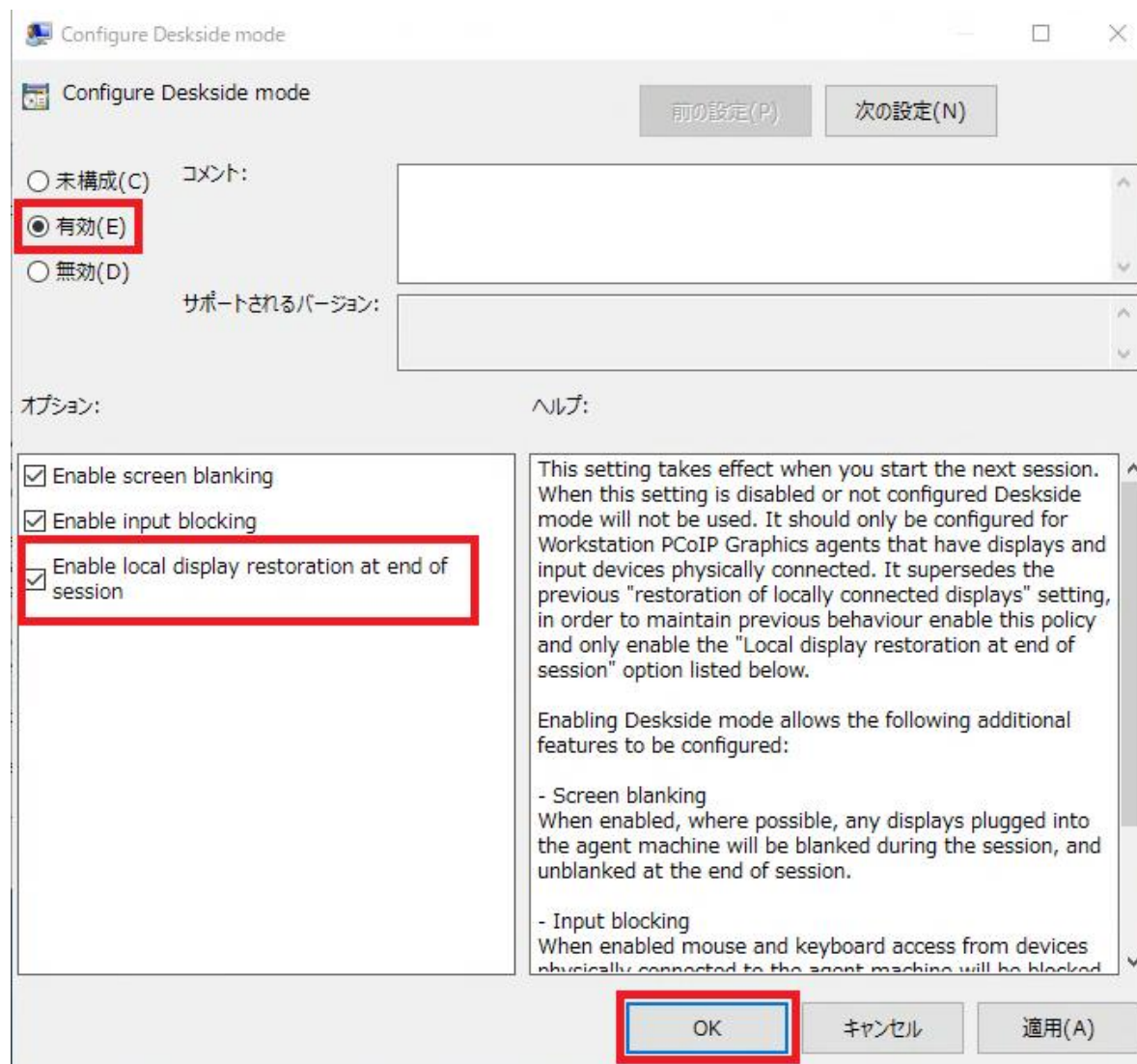
左ペインのコンピュータの構成>管理用テンプレート>PCoIP Session Variables>Not Overridable Administrator Settingsを選択し、右ペインの「Configure Deskside mode」をダブルクリックします。



【推奨設定】 モニター情報復元 - 4

「有効」をクリックしてから、「Enable local display restoration at end of session」にチェックを入れて、OKをクリックします。

グループポリシーエディタを終了し、エージェントのマシンを再起動します。



エージェント（ホスト）の解像度固定モードで起動する - 1

クライアントのディスプレイ情報（EDID）を強制的にエージェントへ上書きするのを回避し、解像度を固定で起動させるためには、以下の手順でクライアントを起動します。

クライアントのコマンドプロンプトを開きます。

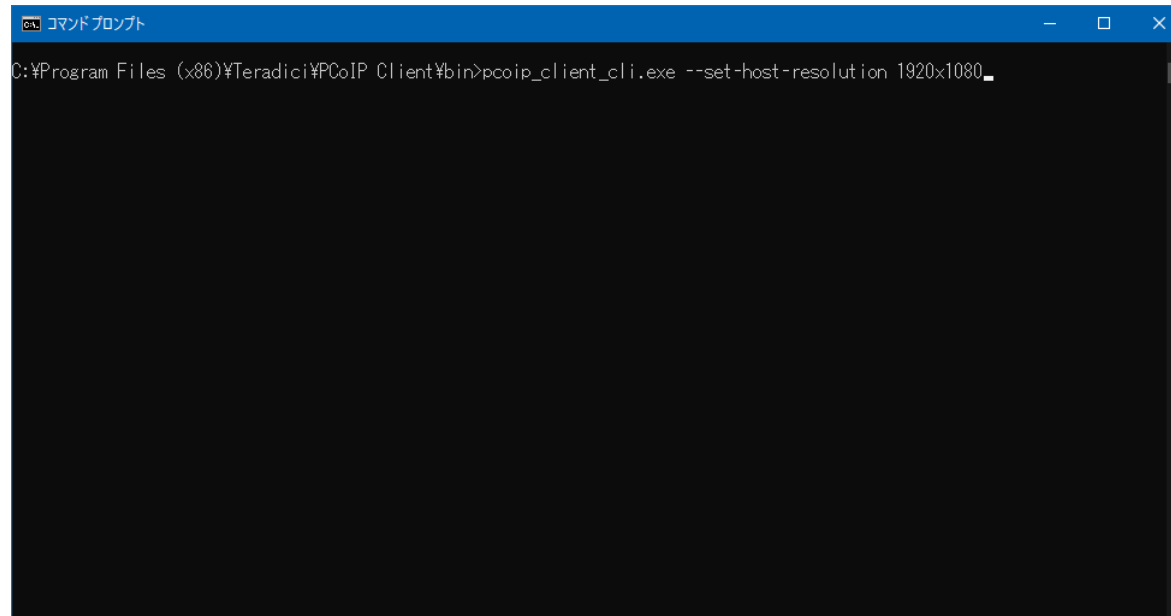
以下のコマンドを実行します。

```
cd C:%Program Files (x86)%Teradici%PCoIP Client%bin
```

以下のコマンドを実行します。

```
pcoip_client_cli.exe --set-host-resolution [解像度]
```

例) 1920*1080に固定で起動する場合は、--set-host-resolution 1920x1080と指定する。



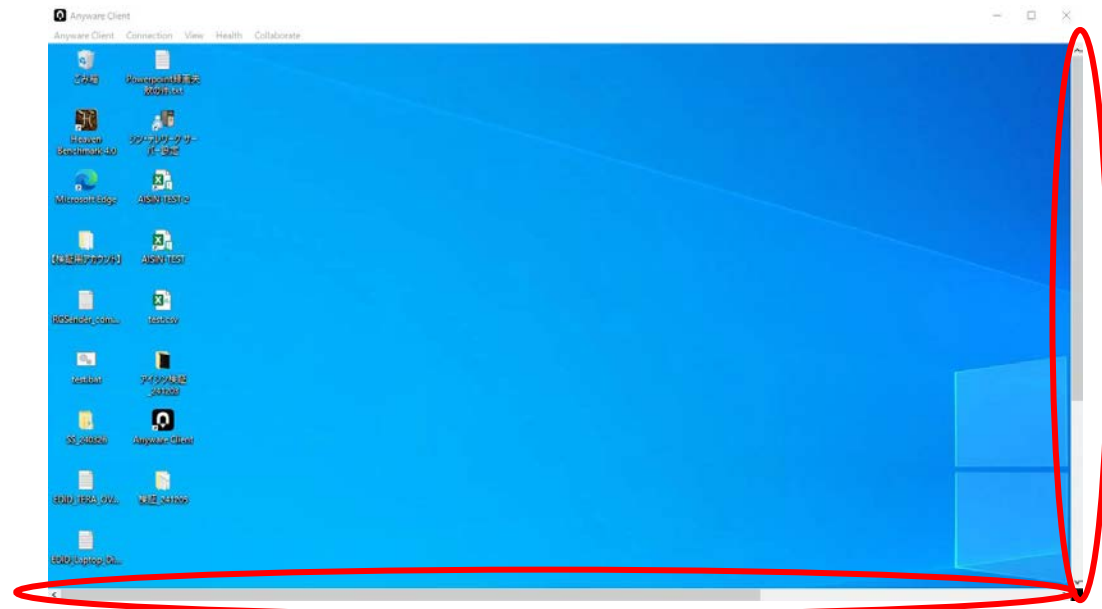
```
コマンドプロンプト
C:%Program Files (x86)%Teradici%PCoIP Client%bin>pcoip_client_cli.exe --set-host-resolution 1920x1080_
```

エージェント（ホスト）の解像度固定モードで起動する - 2

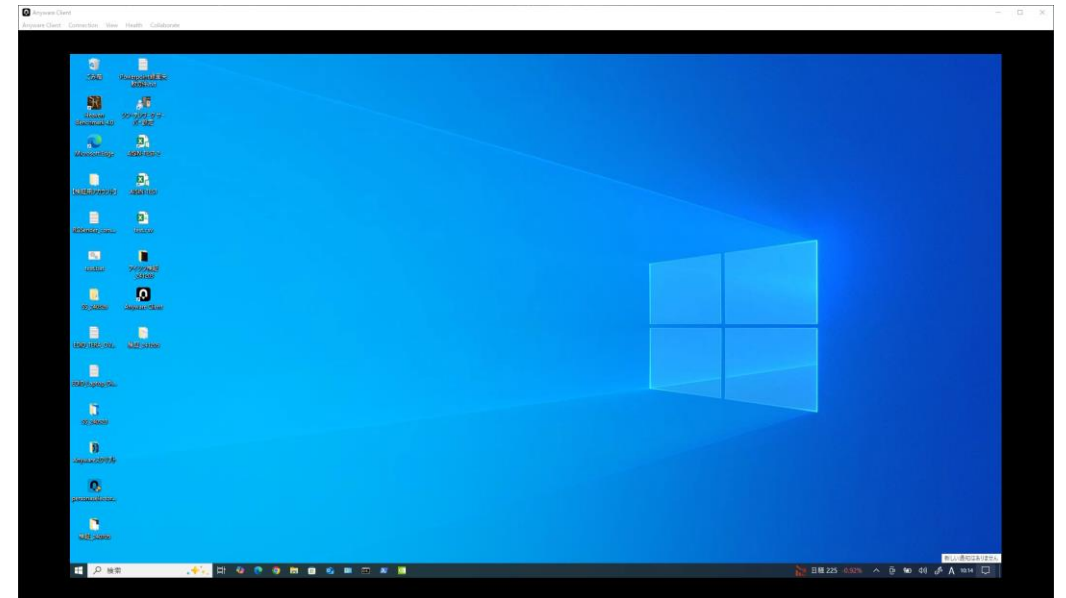
Anywareクライアントが起動しますので、通常どおり接続します。コマンドプロンプトのウィンドウが背後に表示されたままですが、閉じないで下さい。

解像度が固定された状態でエージェントへ接続します。エージェントとクライアントの解像度が異なる場合は、以下のように表示されます。

[解像度がエージェント > クライアントの場合]
表示しきれない部分を見るにはスクロールバーを操作する



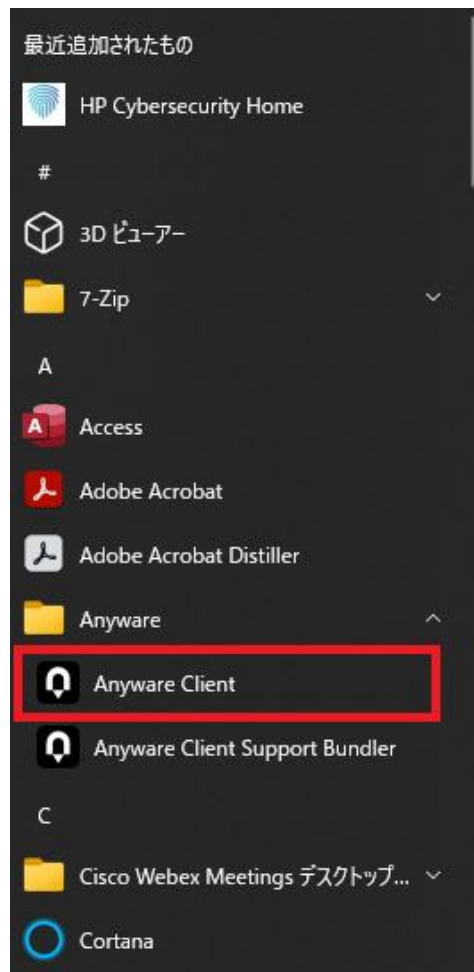
[解像度がエージェント < クライアントの場合]
余白に黒い領域が表示される。



注意：本機能は、シングルモニターでの構成のみ対応しております。

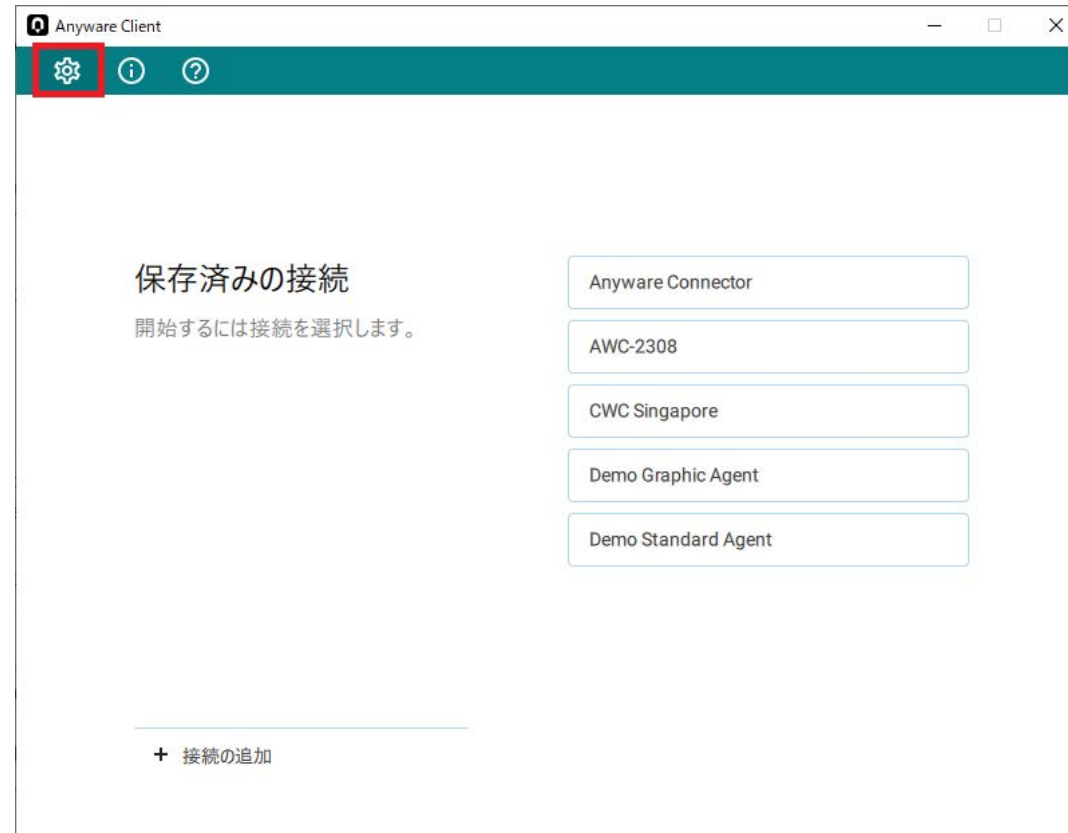
接続 - クライアントの起動

Windowsのスタートメニューから、「Anyware - Anyware Client」をクリックして起動します。



クライアントの設定 - 1

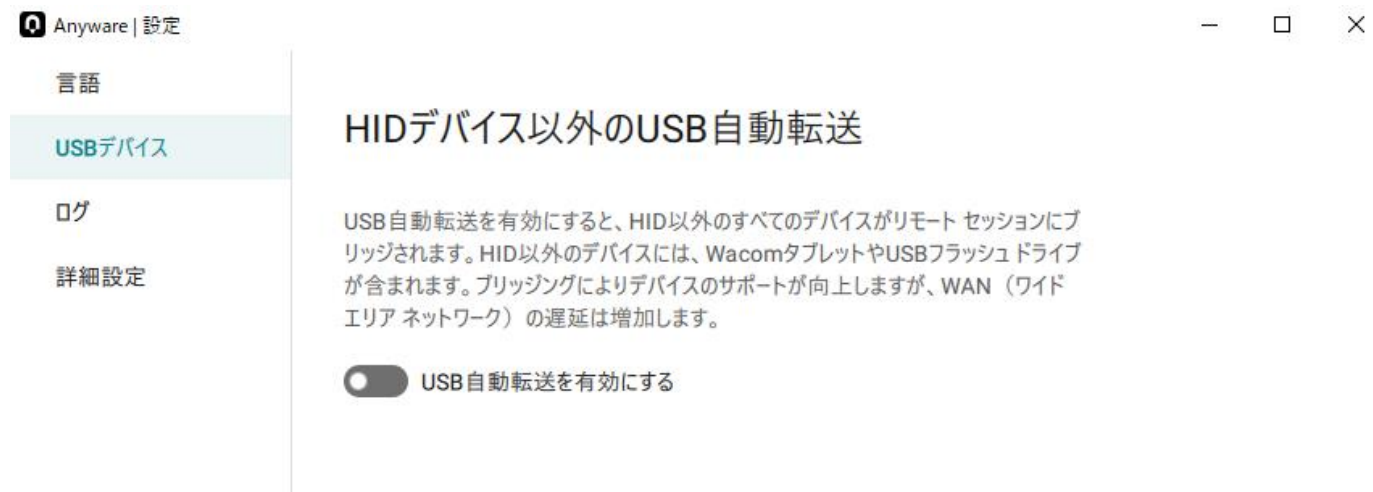
クライアント画面左上の歯車アイコンをクリックすると、クライアントの設定画面に移行します。



クライアントの設定 - 2

HIDデバイス以外のUSB自動転送

手動での接続を必要とせず、すべての非HID USBデバイスを自動接続することができます。自動接続されたデバイスは、クライアントソフトウェアのメニューから切断・再接続が可能です。



クライアントの設定 - 3

Logs

クライアントログの収集レベルを指定します。デフォルトは「レベル2：情報」です。

「フォルダーを表示」ボタンをクリックすると、ログが格納されているフォルダをエクスプローラで開きます。



クライアントの設定 - 4

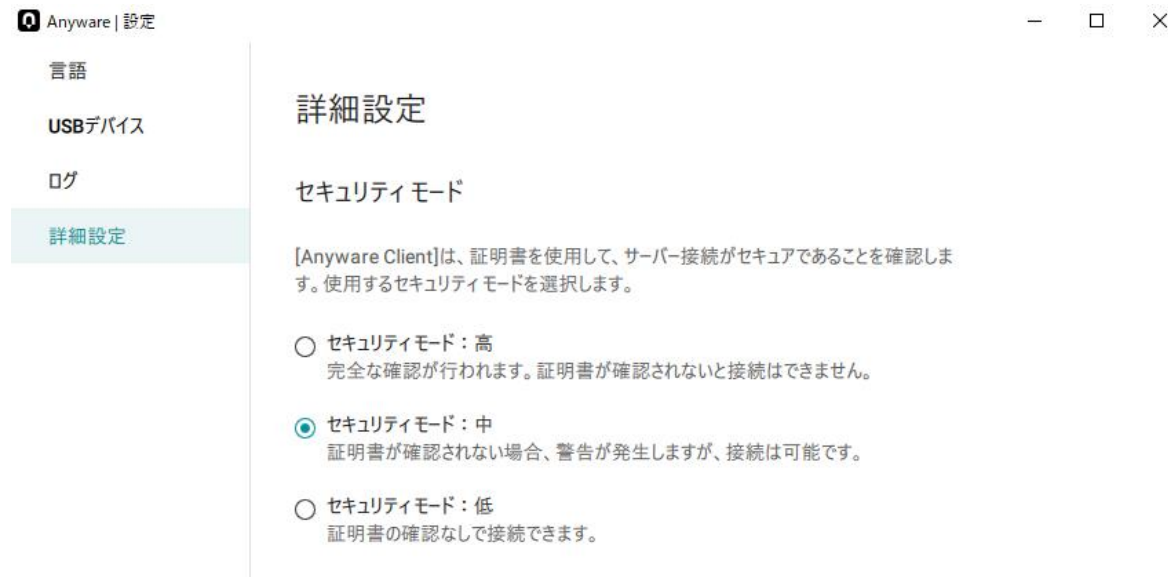
詳細設定 - セキュリティモード

セキュリティモードを設定します。

High：完全な検証が必要であり、証明書が検証できない限り、ユーザーは接続することができません。

Medium：デフォルト設定です。証明書が検証できない場合、警告画面を表示しますが、接続は可能です。

Low：検証を行わず、常に接続を許可します。



クライアントの設定 - 5

詳細設定 - パフォーマンスモード

PCoIPクライアントのパフォーマンスモードを設定します。

標準パフォーマンス：中程度のフレームレートで、一貫したパフォーマンスを提供します。

高パフォーマンス(推奨)：デフォルト設定です。高いフレームレートおよびオーディオ同期を提供し、スムーズな画像を実現します。

※v24.10より、高パフォーマンス(レガシー)モードは廃止されました。

パフォーマンスモード

[PCoIP Client]のパフォーマンスモードを選択します。

i High performance (legacy) mode is no longer offered as of 24.10.

- 標準パフォーマンス
中程度のフレームレートで一貫したパフォーマンスを提供します。事務作業、Webブラウザー、Microsoft Officeアプリケーションなどのパフォーマンス要件の低いソフトウェアに適しています。
- 高パフォーマンス(推奨)
高いフレームレートおよびオーディオ同期を提供し、スムーズな画像およびビデオを実現します。3Dモデリングおよびビジュアル効果などのソフトウェアに適しています。

接続 – 接続先の登録

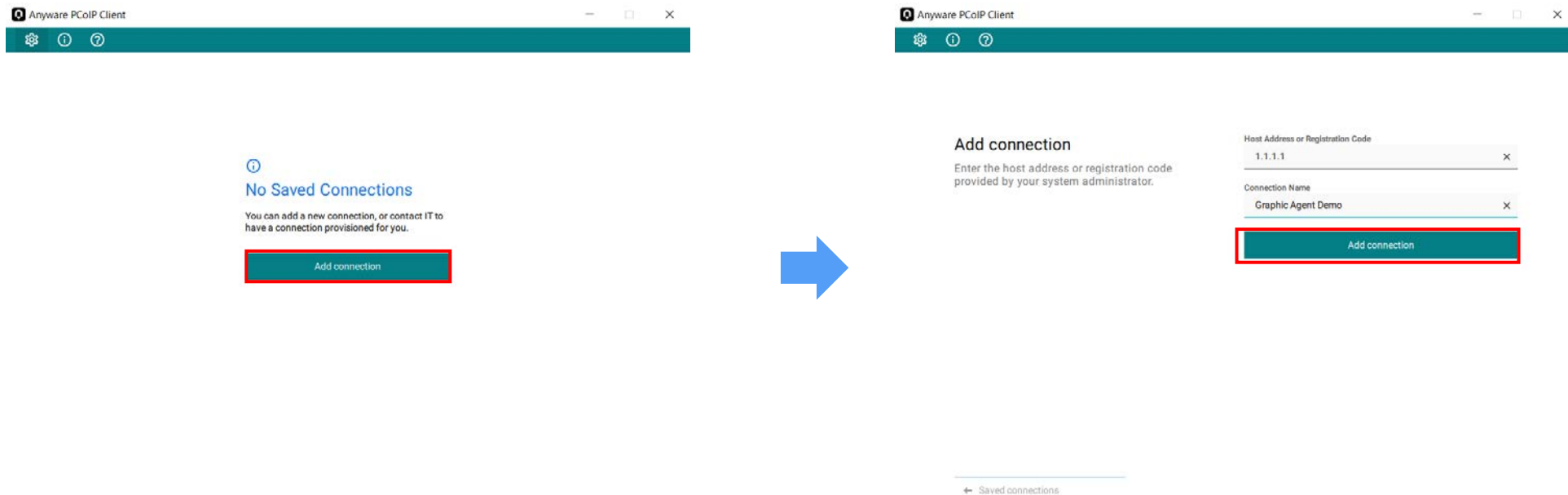
インストール直後は接続先が登録されていない状態です。

「接続の追加」ボタンをクリックします。「ホストアドレスまたは登録コード」欄に、接続先エージェントのIPアドレスまたはFQDNを入力します。

※コネクタ(コネクションブローカー)経由の接続の場合は、コネクタのIPアドレスまたはFQDNを入力します。

「接続名」欄に、任意の接続名(分かりやすい名前)を入力します。

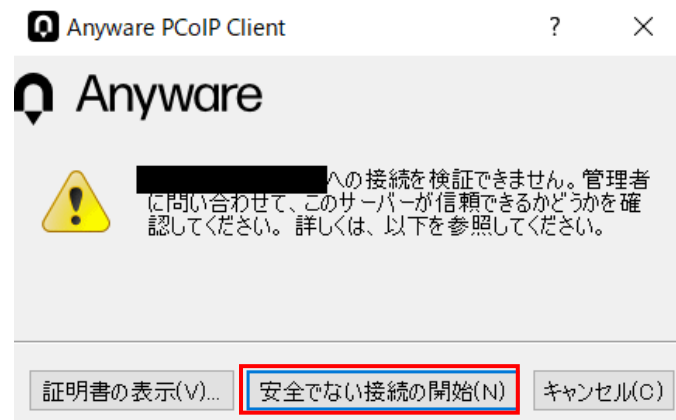
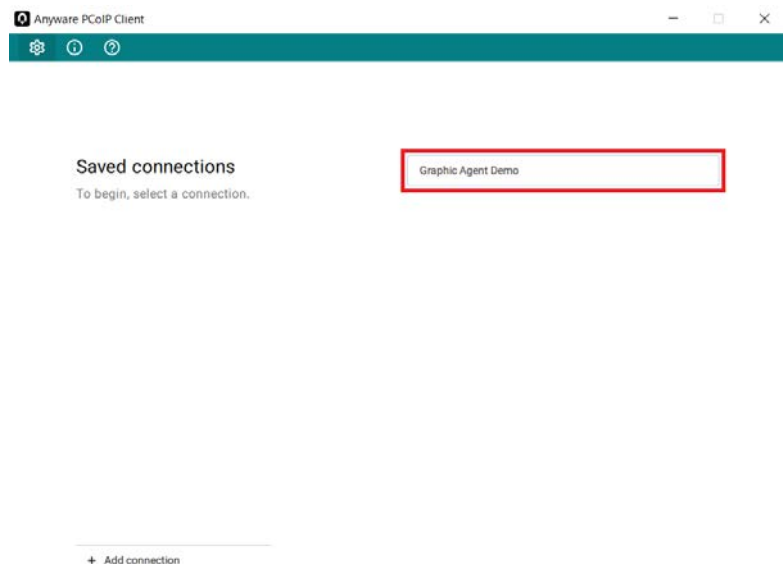
入力後、「接続の追加」ボタンをクリックします。



接続 - エージェントへの接続 - 1

接続先を登録すると、先ほどの画面で入力した接続名の名前でボタンが表示されますので、クリックします。


右画面の警告が表示されますが、「安全でない接続の開始」ボタンをクリックして進めます。



接続 - エージェントへの接続 - 2

接続先のユーザー名とパスワードを求められますので、IDとパスワードを入力し、「接続」ボタンをクリックします。

「ユーザー名を記憶する」にチェックを入れると、次回以降の接続はパスワードの入力のみで接続できます。

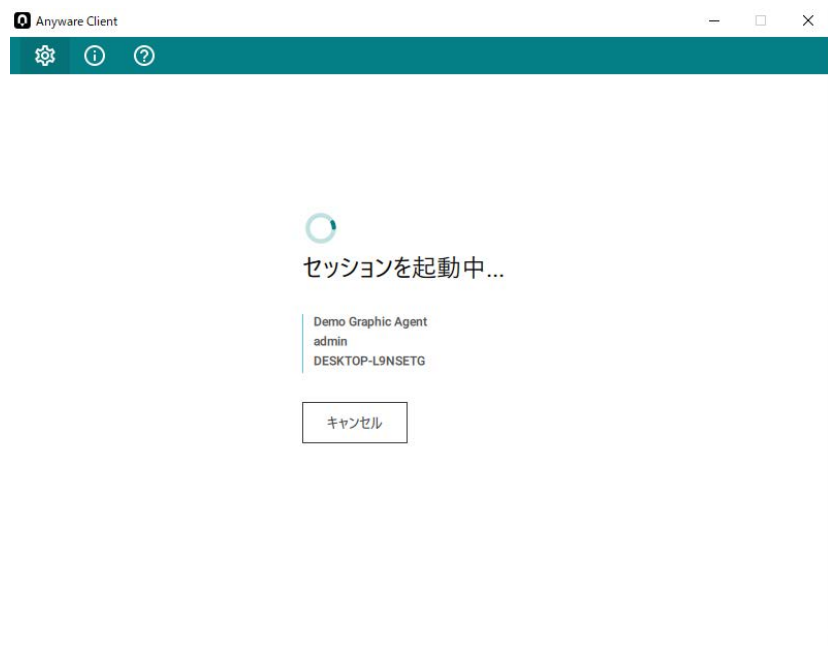


The screenshot shows the 'Anyware Client' window with a teal header bar containing icons for settings, information, and help. The main content area is titled '接続' (Connect) and shows a connection to 'Demo Graphic Agent'. It features two input fields: 'ユーザー名' (Username) with 'admin' entered, and 'パスワード' (Password) with five dots. A teal '接続' (Connect) button is highlighted with a red border. Below the fields is a checked checkbox for 'ユーザー名を記憶する' (Remember username). At the bottom, there is a link labeled '← 保存済みの接続' (← Saved connections).

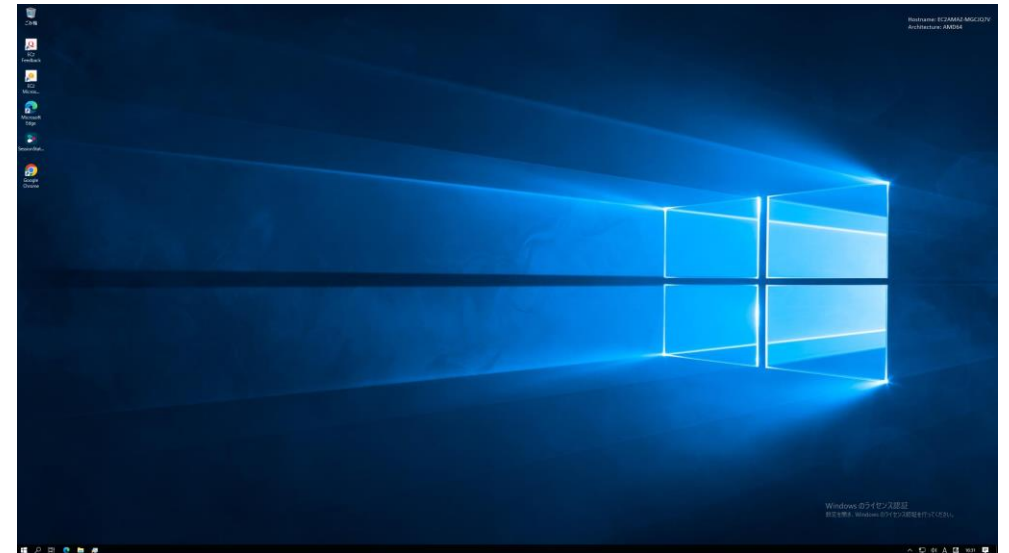
接続 - エージェントへの接続 - 3

左画面が表示され、接続を試みます。暫く待つと接続先のデスクトップが表示され、操作可能な状態になります。

接続中に、左画面の「キャンセル」ボタンをクリックすると、接続をキャンセルできます。



エージェントのデスクトップ画面



デスクトップ画面のメニュー - 1

接続先デスクトップの左上には、メニューが表示されます。

画面を最大化するとメニューは非表示になりますが、マウスカーソルを画面上部に持って行くことで再表示できます。

[Anyware Client] メニュー

About Anyware Client : クライアントのバージョンを表示します。

Quit Anyware Client : デスクトップから切断し、クライアントを終了します。

[Connection] メニュー

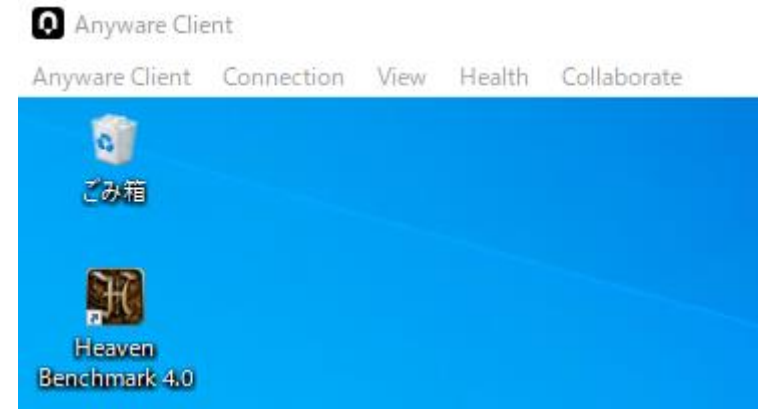
Send CTRL - ALT - DEL : 接続先のデスクトップに、Ctrl+Alt+Delキーの入力信号を送信します。

Disconnect : デスクトップから切断し、接続前の画面に戻ります。

Disable Keyboard Grab(Win+Esc) : キー入力はリモートセッションに送信されなくなり、ローカルOSが利用できるようになります。

USB Devices… : クライアントに接続されているUSB機器の入力信号をエージェントのデスクトップにリダイレクトします。(後述)

Relative Mouse : 相対マウスに対応します。相対マウスはCAD/CAMソフトなどで使用されています。



デスクトップ画面のメニュー - 2

[View] メニュー

Leave Full Screen : ウィンドウ表示へ切り替えます。

Show Full Screen All Monitors : 接続先のデスクトップ画面を、クライアントの全てのモニターに最大表示します。

Show Full Screen One Monitor : 接続先のデスクトップ画面を、クライアントの1台のモニターに最大表示します。

Minimize Client : クライアントの画面を最小化します。

Tablet Monitor : ワコムタブレットで使用するモニターを選択することができます。ペンやマウスを使うかどうかの切り替えや、向き位置の選択も可能です。

Tablet Orientation Left-handed : タブレットを左利き用に設定します。

Tablet Force Proportions : Wacomタブレットのタブレットフォースプロポーション機能を有効にします。Wacomタブレット側も同様の設定が必要です。

Detect Monitors : セッション中にローカルディスプレイの構成が変更された場合（新しいローカルモニターを取り付けたり、古いモニターを取り外したりした場合など）、新しい構成を正確に表示するために、ディスプレイマッピングを更新します。

A/V Lock : ビデオ再生をスムーズにし、オーディオとビデオの遅延の差を減らしますが、操作の応答性が低下します。

[Health]メニュー

Connection Health : Health画面を表示し、ネットワークの消費帯域幅やフレームレート、PCoIPモードなどの状態を確認できます。

Health画面

The screenshot shows the 'Health' interface with the following information:

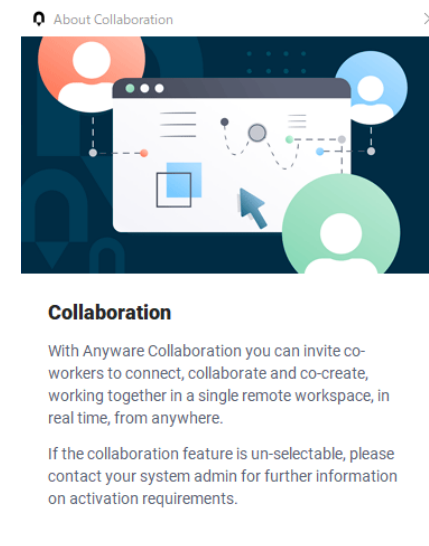
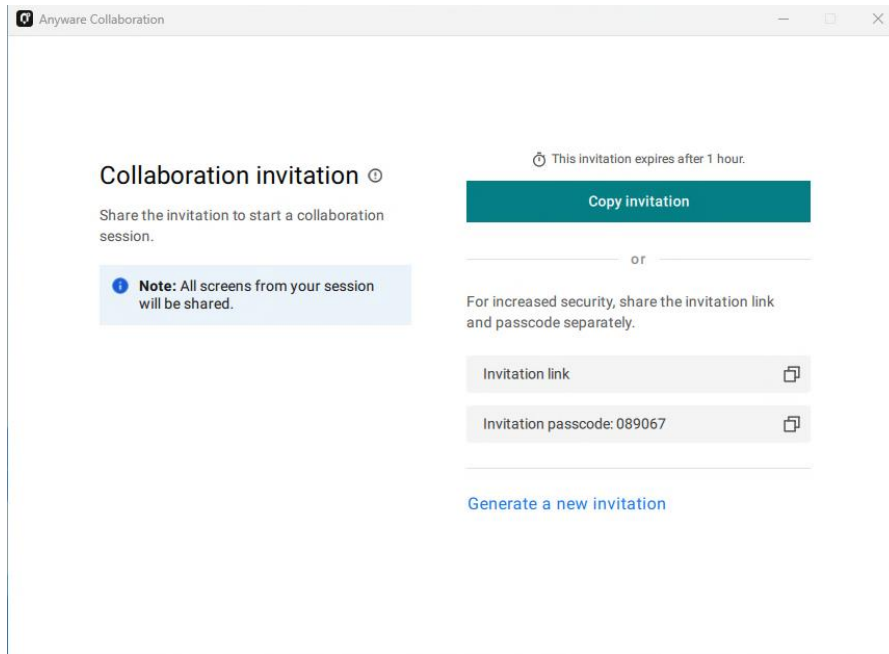
- Header: Anywhere | Health
- Connection Status: Your Connection is **Good** (イーサネット2 Connected)
- Performance Metrics:
 - Frame Rate: Display 1 ▼, 1 fps
 - Bandwidth: < 1 Mbps
 - Packet Loss: 0 %
 - Latency: 11 ms
 - PCoIP Mode: CPU Offload BGRA 8|8|8|8

デスクトップ画面のメニュー - 3

[Collaborate] メニュー

Invite to collaborate : コラボレーション機能のインビテーション (招待状) を発行します。

About Collaboration : コラボレーション機能の説明を表示します。



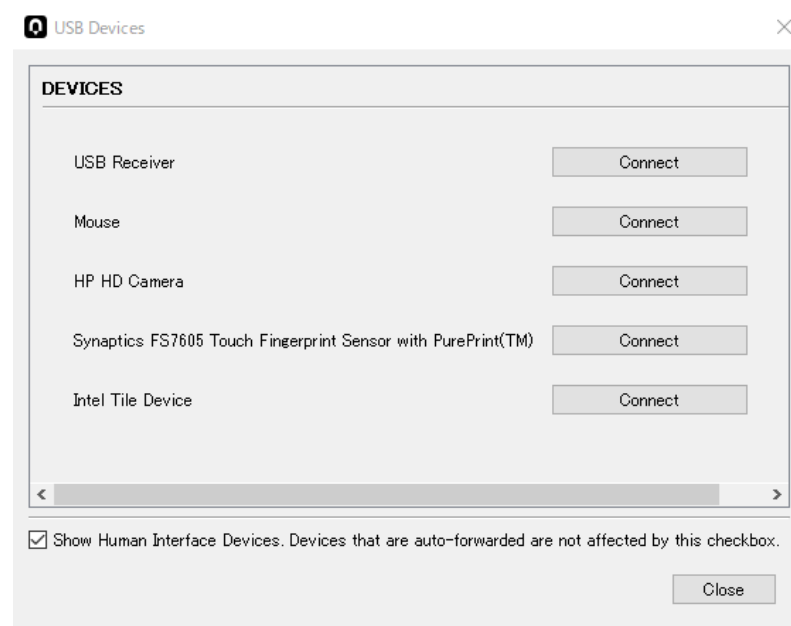
USB機器の接続

HP Anywareは、「リダイレクト」と呼ばれるプロセスを使用して、クライアントに接続されているペンタブレットやカメラなどのUSBデバイスを使用することができます。

USBデバイスは自動的にリモートデスクトップにリダイレクトされるわけではなく、セッション別に接続する必要があります。

最初に、接続したいUSBデバイスをクライアントマシンに接続します。

クライアントのメニューから、Connection>USB Devices… をクリックします。ダイアログが表示されますので、デバイス名の横にある「Connect」をクリックします。



切断する場合は、同じ手順でダイアログを表示して、「Disconnect」をクリックします。

パフォーマンスが悪い時は

HP Anywareでパフォーマンスが悪い場合、以下の設定をお試し下さい。

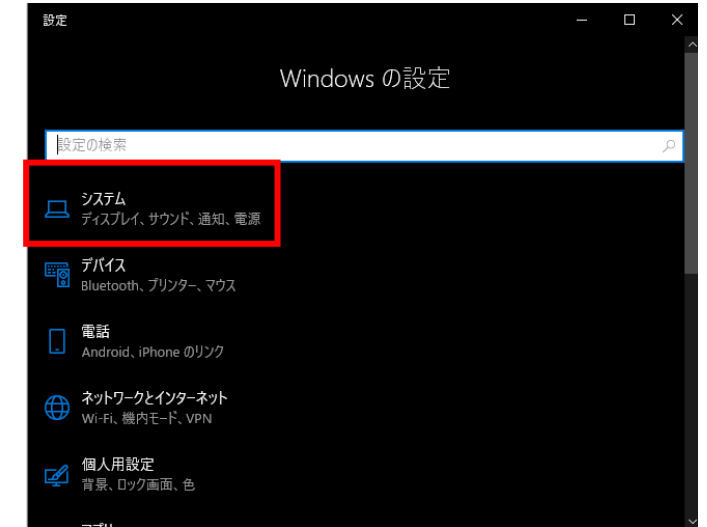
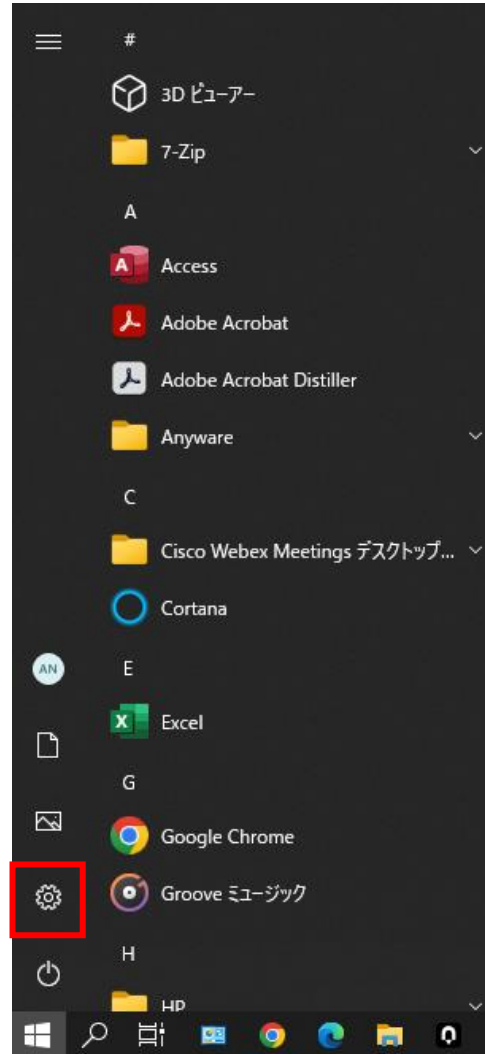
- ・ Windowsの設定
- ・ HP Anywareの設定

以下ではそれぞれの設定変更手順を示します。

Windows設定①

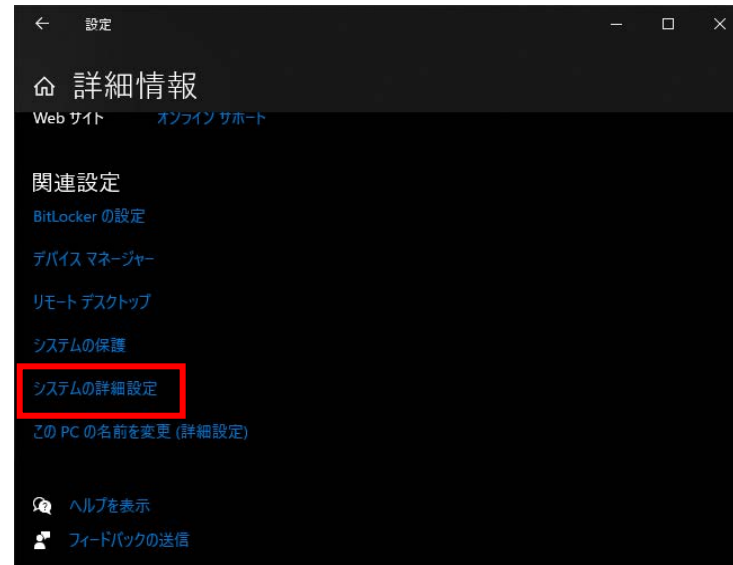
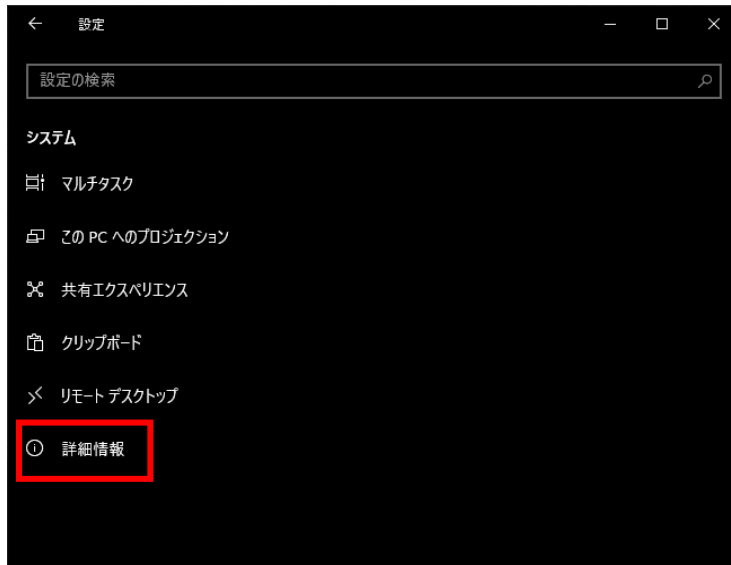
(注) Windows 10での設定手順ですので、他バージョンでは異なる場合があります。

- 1) スタートメニューを開いて、歯車(設定)アイコンをクリックします。
- 2) 「システム」をクリックします。



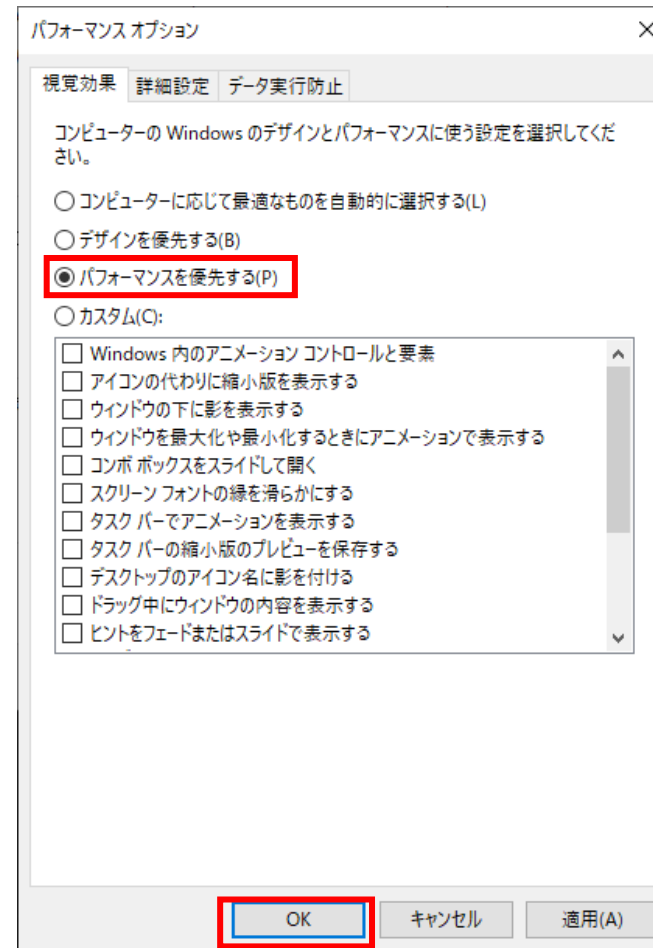
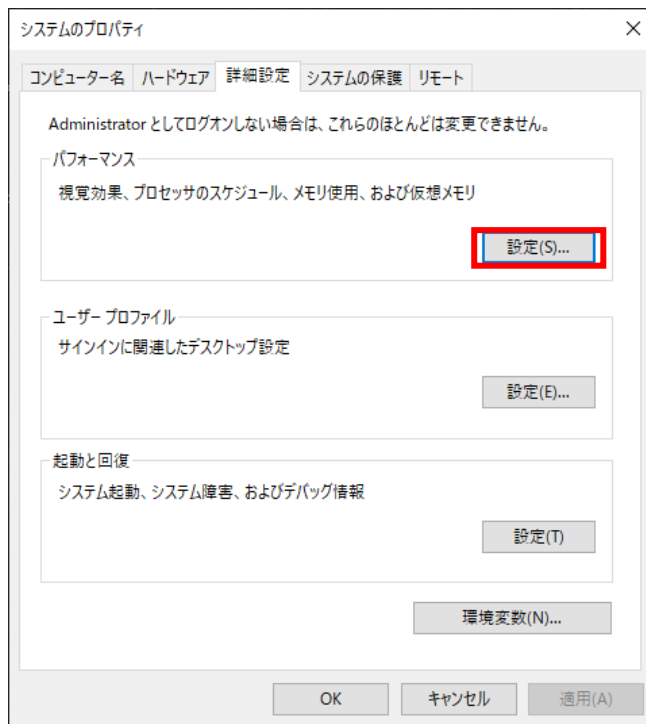
Windows設定②

- 3) 「詳細情報」をクリックします。
- 4) 「システムの詳細設定」をクリックします。



Windows設定③

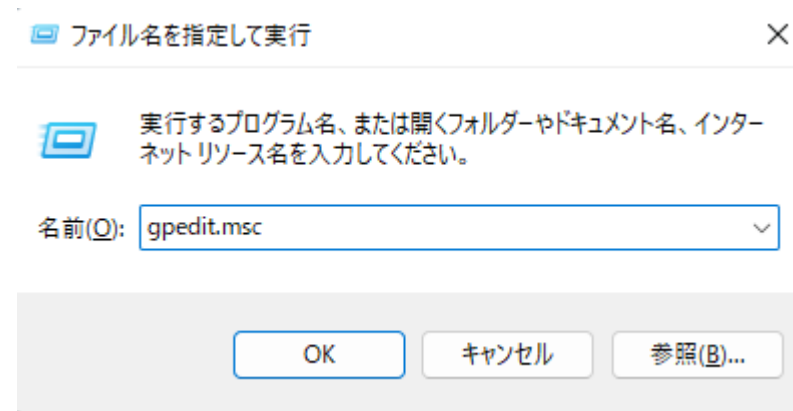
- パフォーマンス欄の設定ボタンをクリックします。
- 「パフォーマンスを優先する」をクリックします。



HP Anyware設定 – 共通

エージェントマシンのローカルグループポリシーエディタを起動し、各設定を変更します。

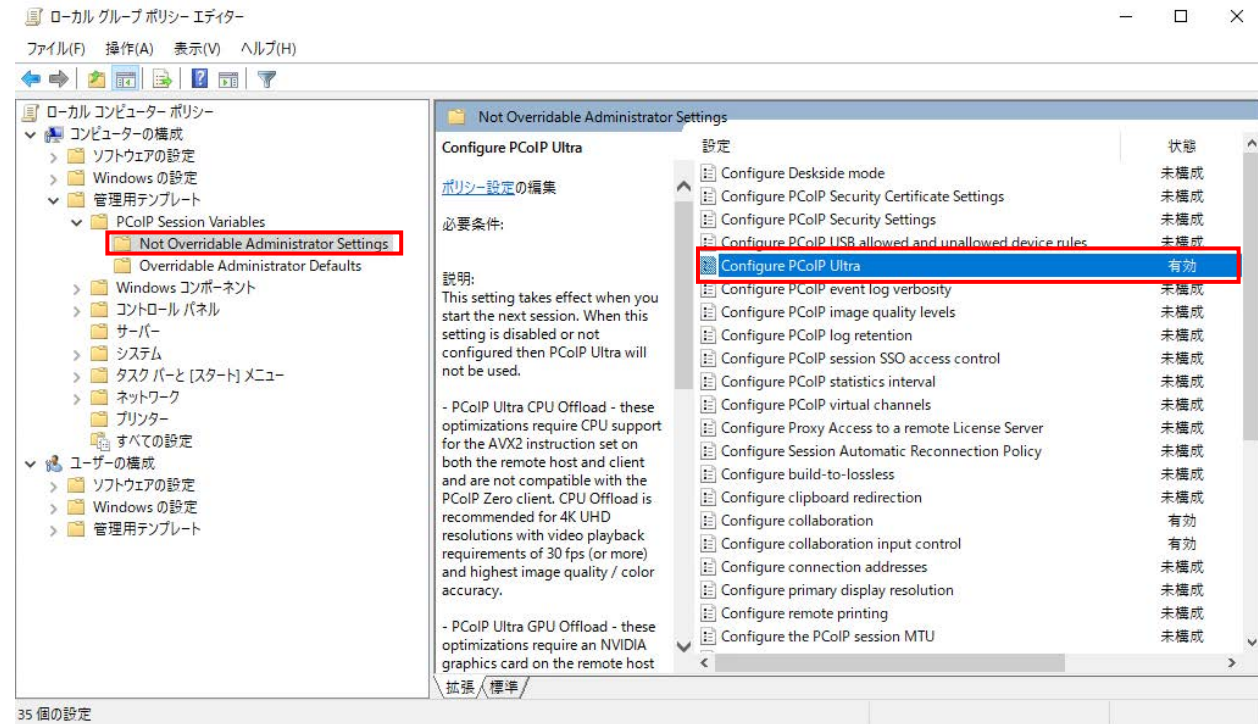
1) 管理者権限を持つユーザーでエージェントマシンへログインし、gpedit.mscを実行します。



2) 「ローカルグループポリシーエディター」の左ペインから「コンピューターの構成-管理用テンプレート-PCoIP Session Variables-Not Overridable Administrator Settings」をクリックしてから、右ペインの設定変更したい項目をダブルクリックします。

HP Anyware設定 – Auto Offload①

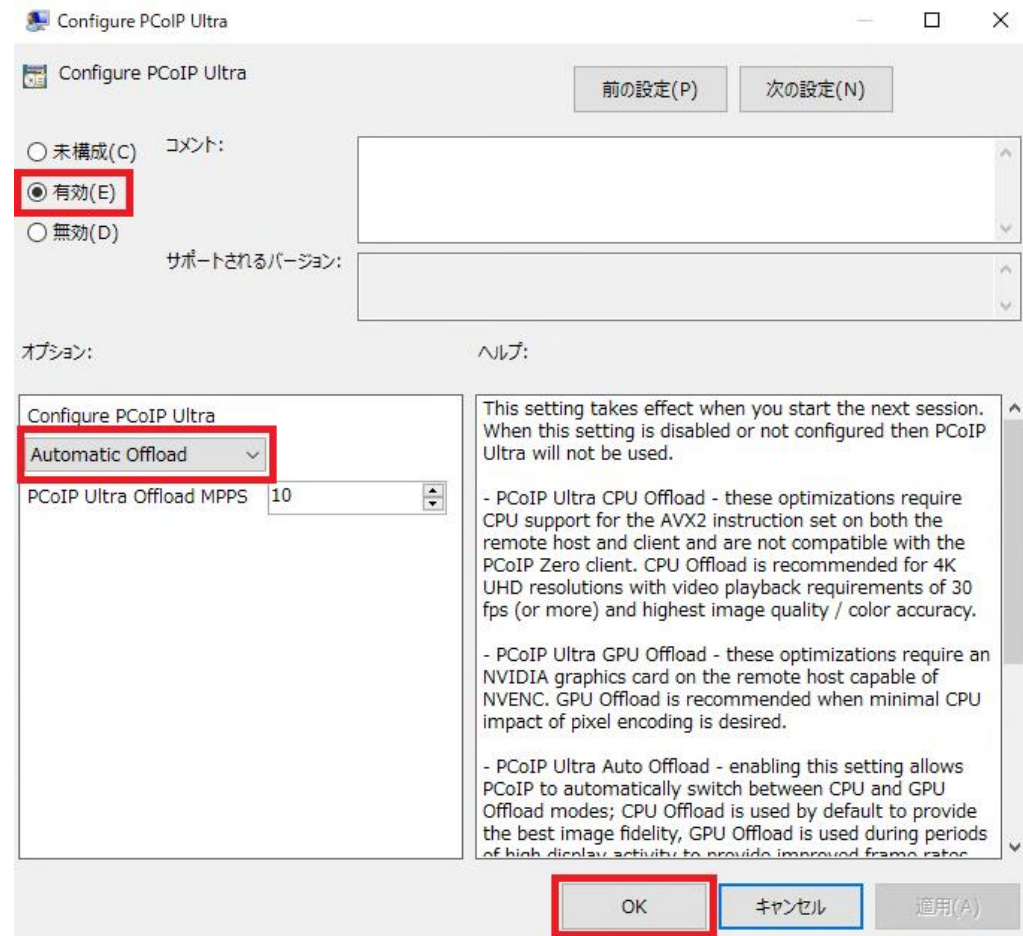
1) 「ローカルグループポリシーエディター」の右ペインからConfigure PCoIP Ultraをダブルクリックします。



HP Anyware設定 – Auto Offload②

2) 「有効」をクリックしてから「Automatic Offload」を選択し、OKをクリックします。

3) ローカルグループポリシーエディターを終了します。設定変更は、次の接続から反映されますので、Anywareで接続中の場合は一度切断し、再接続します。

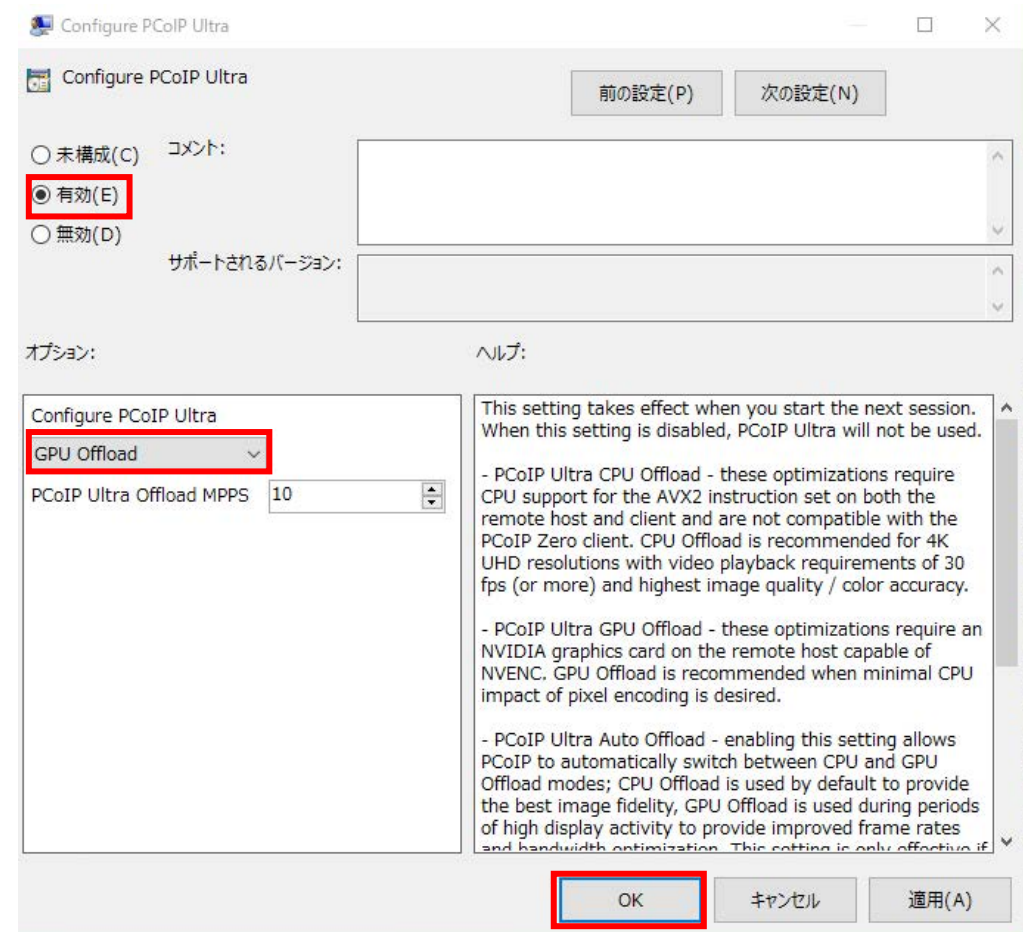


HP Anyware設定 – GPU Offload

Auto Offloadに変更しても、画面を動かした際の初動がややもたつく場合があります。その際は、GPU Offloadへ変更してお試し下さい。

1) 「有効」をクリックしてからGPU Offloadを選択し、OKをクリックします。

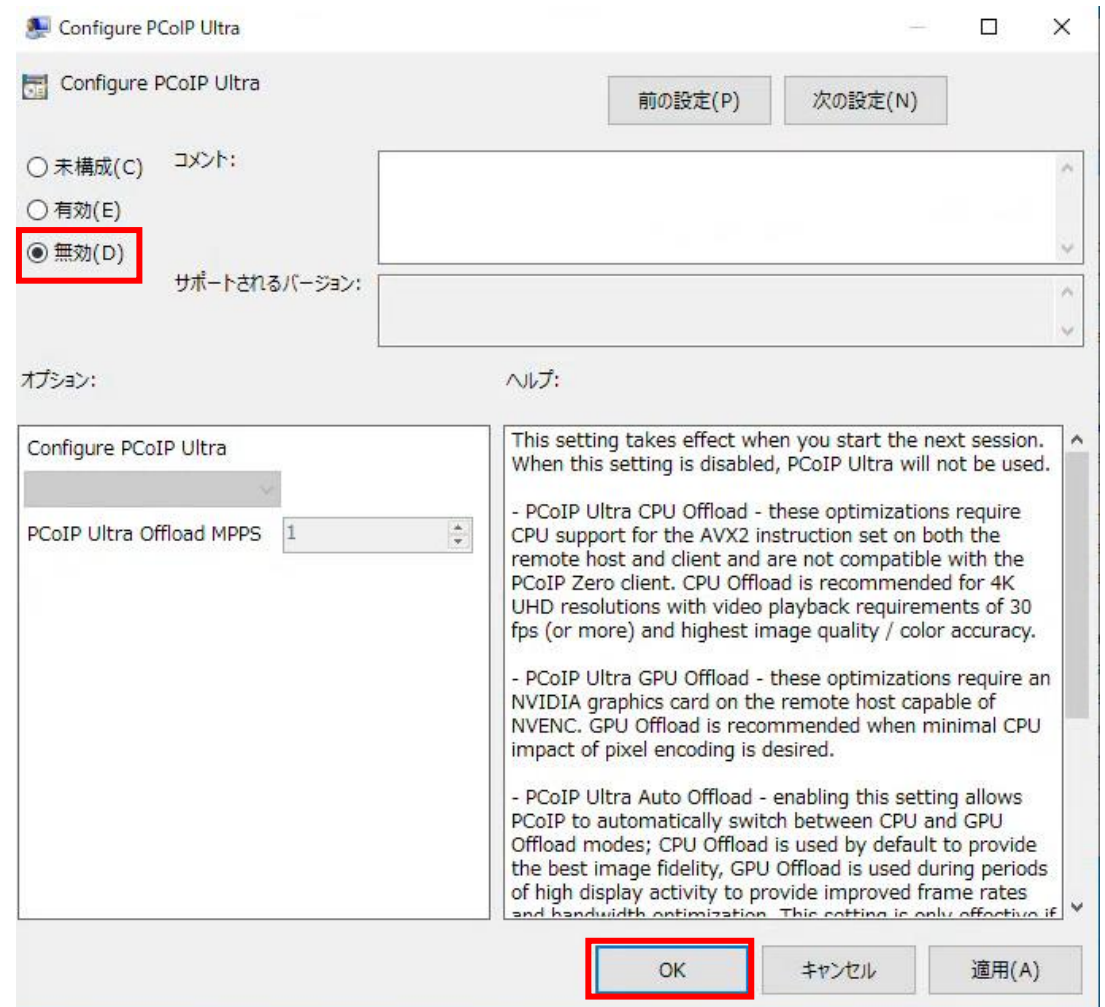
2) ローカルグループポリシーエディターを終了します。設定変更は次回の接続から反映されますので、Anywareで接続中の場合は一度切断し、再接続します。



HP Anyware設定 – PCoIP Ultraの無効化

PCoIP Ultra設定を無効化することで、パフォーマンスが向上する場合があります。Auto OffloadやGPU Offloadでも改善されない場合は以下をお試し下さい。

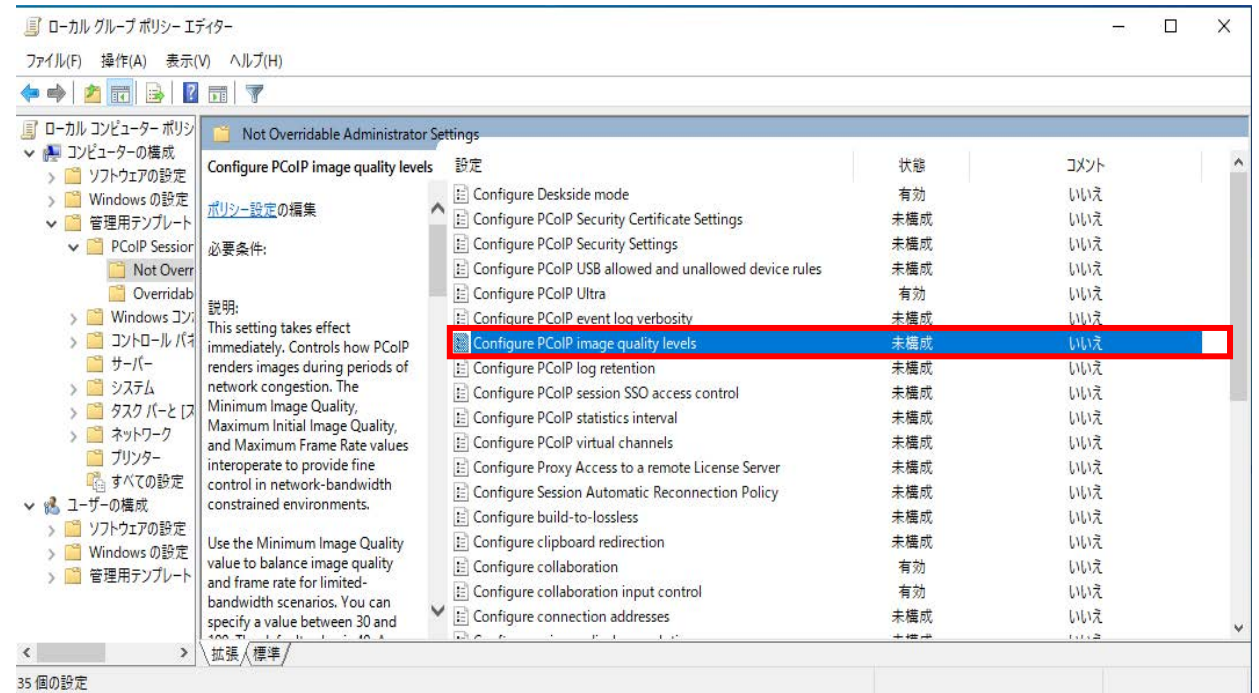
- 1) 「無効」をクリックしてからOKをクリックします。
- 2) ローカルグループポリシーエディターを終了します。設定変更は次回の接続から反映されますので、Anywareで接続中の場合は一度切断し、再接続します。



HP Anyware設定 – PColP image quality levels①

Anywareの画質やフレームレートに関する調整を行います。お客様のネットワーク環境によっては、これらの値を調整することでパフォーマンスが改善する場合があります。設定変更後、すぐに反映されます。

グループポリシーエディタの右ペインから、Configure PColP image quality levelsをダブルクリックします。



HP Anyware設定 – PCoIP image quality levels②

[各項目の説明]

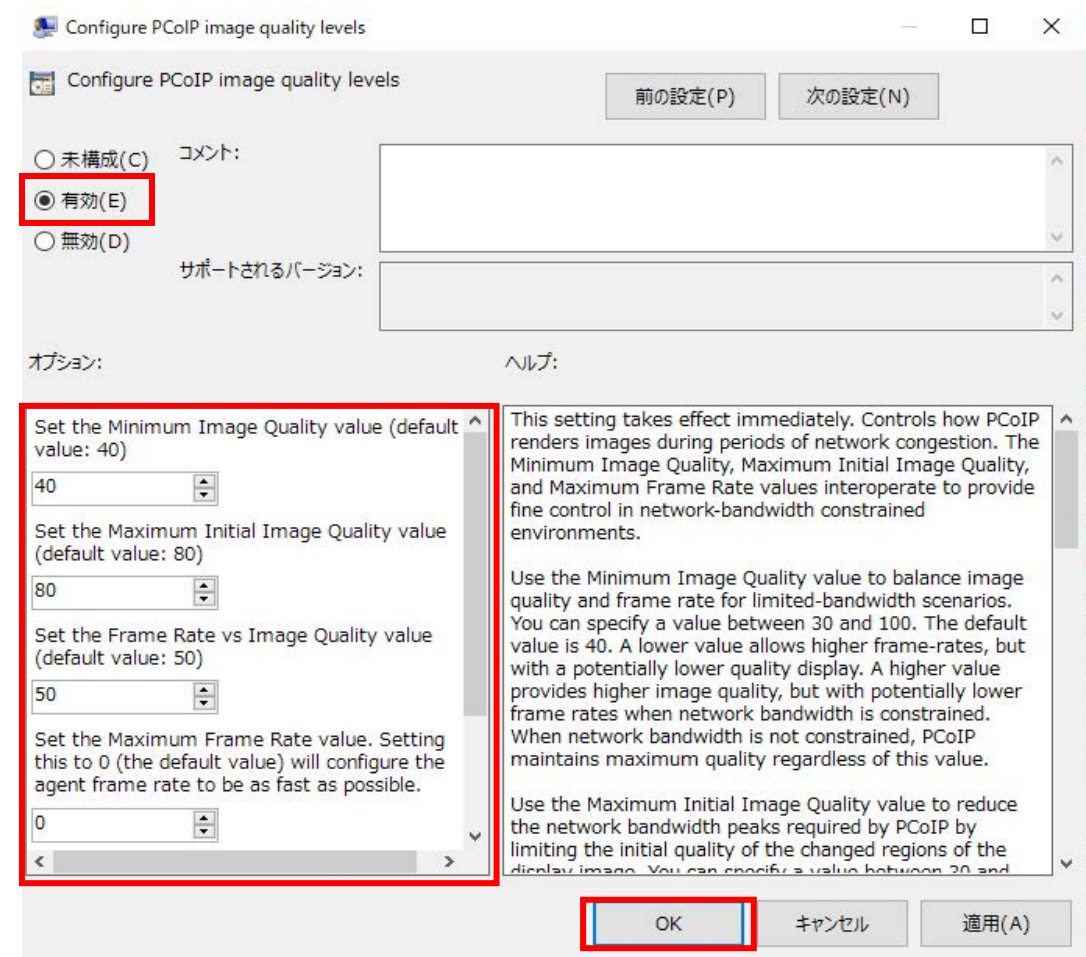
- Minimum Image Quality Value (デフォルト:40)
画質の下限を指定します。値を下げるとフレームレートが高くなりますが、画質が粗くなります。

- Maximum Initial Image Quality Value (デフォルト:80)
画質の上限を指定します。値を下げると画質が粗くなりますが、使用帯域幅を抑えられますので、**70以下に設定してパフォーマンスが改善するかを確認します。**

- Frame Rate vs Image Quality value (デフォルト:50)
値を低くするとフレームレート(動きの滑らかさ)を優先し、高くすると画像の鮮明さを優先します。

- Maximum Frame Rate value (デフォルト:0)
フレームレートを指定します。最大値は60です。値を下げると使用帯域幅を抑えられますので、**30以下に設定してパフォーマンスが改善するかを確認します。**

- Set the YUV chroma subsampling(デフォルト:4:2:0)
4:2:0に設定すると色精度が低下しますが、帯域幅の使用量を削減するために画像がさらに圧縮されます。
4:4:4に設定すると色精度が向上しますが、使用帯域幅は増加します。



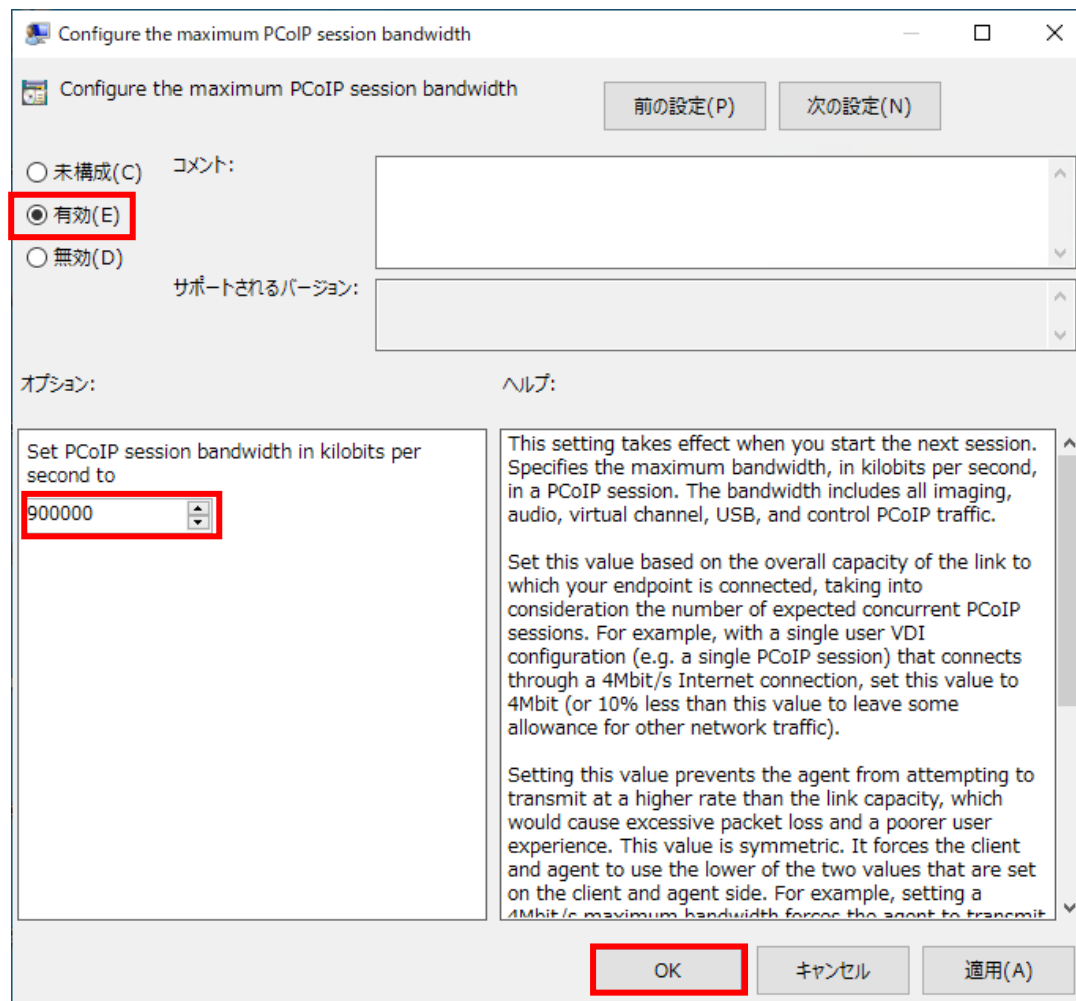
HP Anyware設定 – Maximum PCoIP session bandwidth

PCoIPトラフィックで使用する最大ネットワーク帯域幅を指定します。デフォルト値は900,000kbps(900Mbps)です。低帯域のネットワークでは、この値を下げることでパフォーマンスが改善する場合があります。

1) グループポリシーエディタの右ペインから、Configure the maximum PCoIP session bandwidthをダブルクリックします。

2) 「有効」をクリックしてからSet PCoIP session bandwidth in kilobits per second toの値を調整し、OKをクリックします。

設定変更は次回の接続から反映されますので、Anywareで接続中の場合は一度切断し、再接続します。

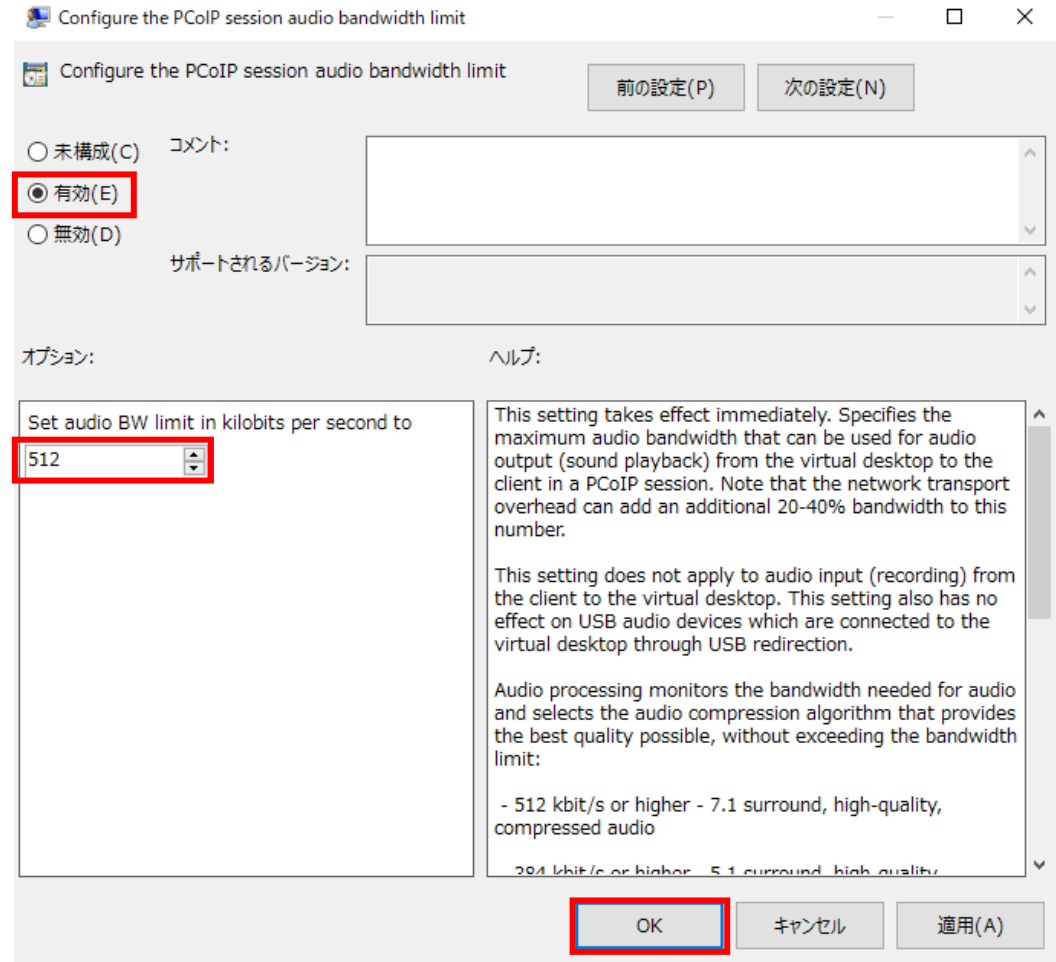


HP Anyware設定 – Session audio bandwidth limit

エージェントからクライアントへ送られる音が途切れるなどの音声不良が発生する場合は、この項目を変更します。

1) グループポリシーエディタの右ペインから、Configure the PCoIP session audio bandwidth limitをダブルクリックします。

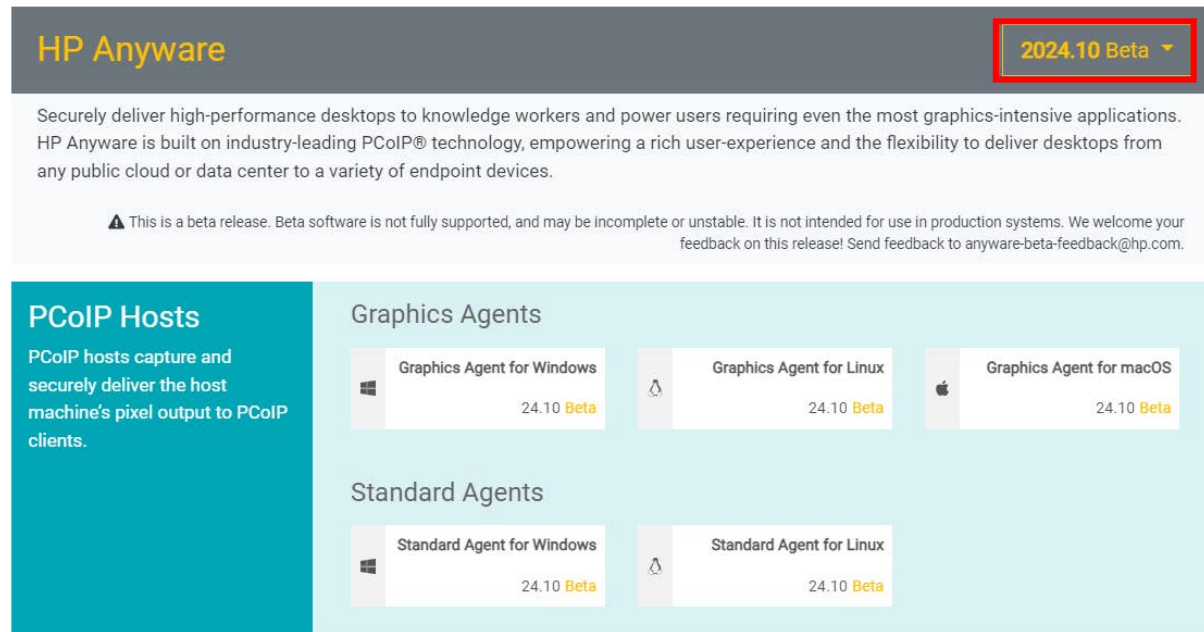
2) 「有効」をクリックしてからSet audio BW limit kilobits per second ofの値を調整し、OKをクリックします。**32～47を指定すると音質が下がりますが、音切れが改善する場合があります。**
設定変更はすぐに反映されます。



その他 - エージェント、クライアントのアップデート

Anywareはパフォーマンスの改善に取り組んでいますので、ご使用のエージェント、クライアントのバージョンが古い場合は、最新バージョンへアップデートしてお試し下さい。
また、ベータ版が[ダウンロードサイト](#)から取得できる場合があります。画面右上のバージョン部分を切り替えてご確認ください。

※ベータ版はサポート対象外のため、本番環境への適用は避け、検証環境にてご使用下さい。



The screenshot shows the HP Anyware website interface. At the top right, a dropdown menu is open, displaying "2024.10 Beta" with a downward arrow, highlighted by a red box. Below the header, there is a section for "PCoIP Hosts" and a section for "Graphics Agents" and "Standard Agents".

HP Anyware 2024.10 Beta

Securely deliver high-performance desktops to knowledge workers and power users requiring even the most graphics-intensive applications. HP Anyware is built on industry-leading PCoIP® technology, empowering a rich user-experience and the flexibility to deliver desktops from any public cloud or data center to a variety of endpoint devices.

⚠ This is a beta release. Beta software is not fully supported, and may be incomplete or unstable. It is not intended for use in production systems. We welcome your feedback on this release! Send feedback to anyware-beta-feedback@hp.com.

PCoIP Hosts
PCoIP hosts capture and securely deliver the host machine's pixel output to PCoIP clients.

Graphics Agents

- Graphics Agent for Windows 24.10 Beta
- Graphics Agent for Linux 24.10 Beta
- Graphics Agent for macOS 24.10 Beta

Standard Agents

- Standard Agent for Windows 24.10 Beta
- Standard Agent for Linux 24.10 Beta

その他 – パフォーマンスについての情報

パフォーマンス関連の情報については、以下のリンクをご参照下さい。

[PCoIP Session Configuration](#)

[PCoIP Performance Optimization](#)

[Application and OS Optimization](#)

[Session Planning with PCoIP Ultra](#)

参考 – 用途別のPCoIP Ultra推奨設定について

Wi-Fi環境でご使用の場合、可能であれば有線環境に変更下さい。

すべての用途(ワークロード)は、LANまたは高性能WAN上で実行すると期待どおりに機能します。

「High Fidelity(高忠実度)」と「3D Rendering」の用途は最も帯域幅を消費し、「Office」と「Video Playback」はより少ない帯域幅を使用するように調整されています。

| | Office | Video Playback (Limited Bandwidth) | 3D Rendering | High Fidelity |
|--|--------------|---------------------------------------|------------------|---------------|
| Recommended PCoIP Agent: | | | | |
| Standard Agent | Yes | No | No | No |
| Graphics Agent | Yes | Yes | Yes | Yes |
| Remote Workstation Agent | Yes | No | Yes* | Yes* |
| Recommended Agent Configurations: | | | | |
| Frame Rates: | 4-16 | 30-60 | 30 | 30 |
| User Profiles | A/B/C/D/E | B/C | A/B | A/B |
| Ultra Optimizations:* | 0 (Disabled) | 2 (GPU) | 3 (Auto-Offload) | 1 (CPU) |
| Expected Bandwidth | + | + | ++ | +++ |

(*) ULTRA optimizations are not available when using the Remote Workstation Card or when using Zero Clients.

参照元

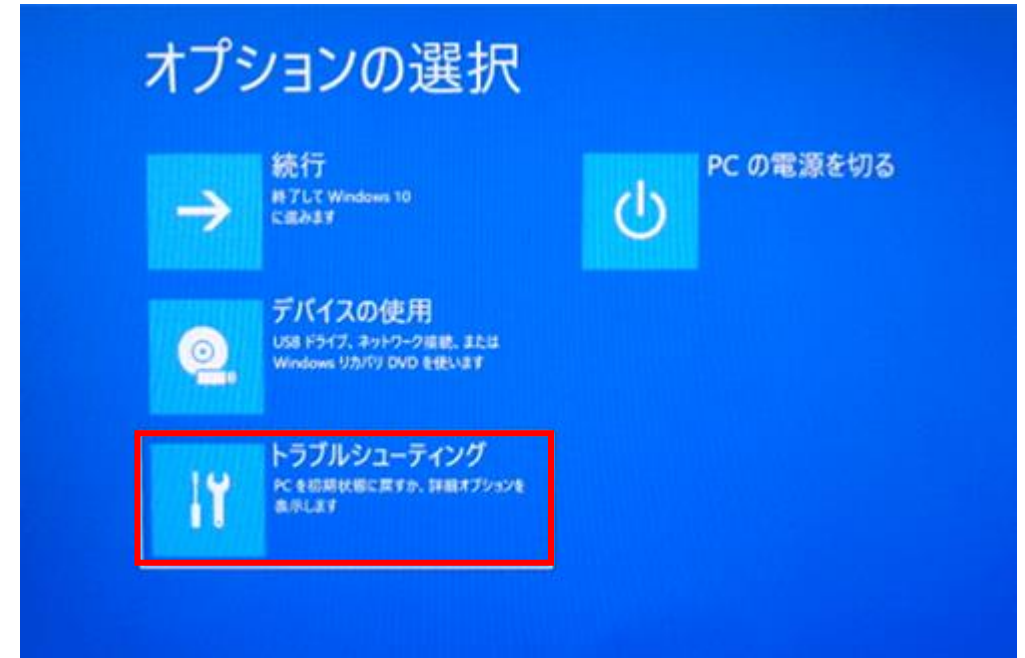
<https://docs.teradici.com/knowledge/tuning-pcoip-high-performance-workloads>

エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまった場合の復旧手順 - 1

Anywareを切断した際の状態によっては、前述の【モニター情報復元】設定を行っても、エージェントに接続されたモニターが黒画面のまま元に戻らない場合があります。その際は以下の手順で復旧を試みます。

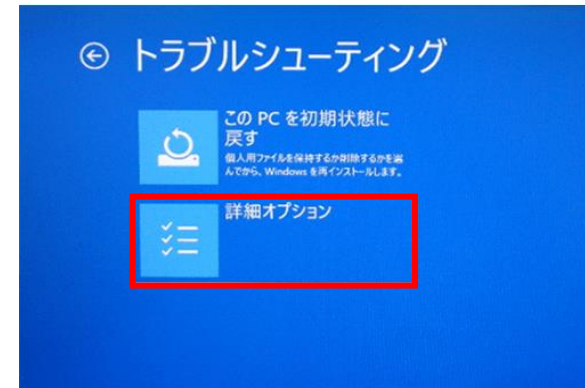
(1)
エージェントマシンのWindowsをメンテナンスモードで起動します。起動方法はお使いのマシンのメーカーによって異なりますので、マニュアルをご参照下さい。

(2)
オプションの選択画面で「トラブルシューティング」を選択します。

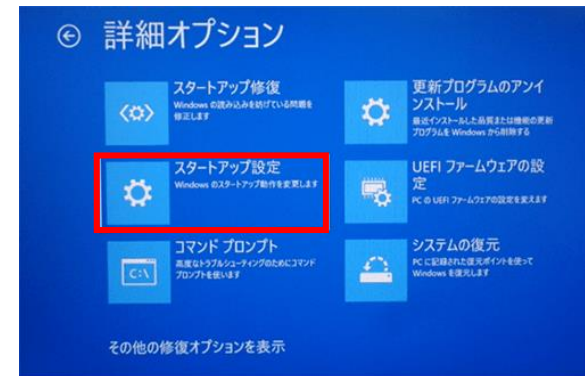


エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまった場合の復旧手順 - 2

(3)
トラブルシューティング画面で「詳細オプション」を選択します。

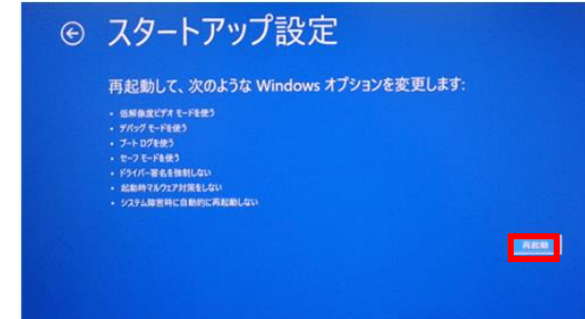


(4)
詳細オプション画面で「スタートアップ設定」を選択します。

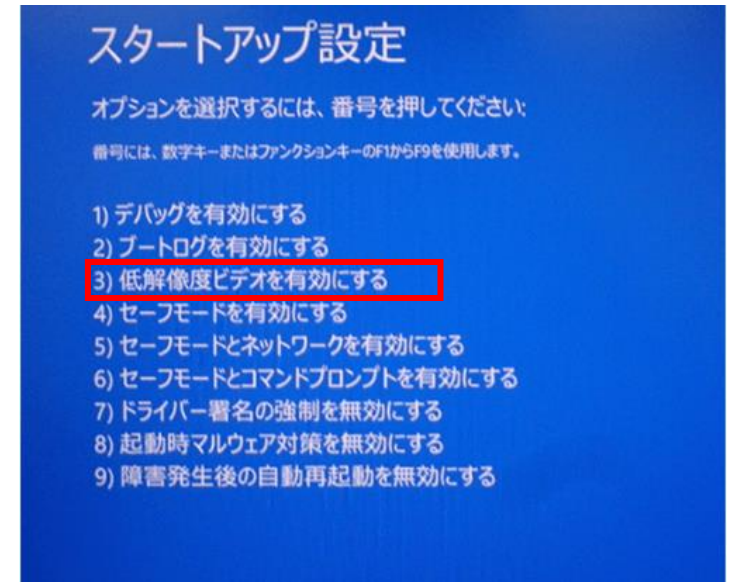


エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまった場合の復旧手順 - 3

(5)
右下の再起動が選択された状態になっていますので、Enterキーを押します。

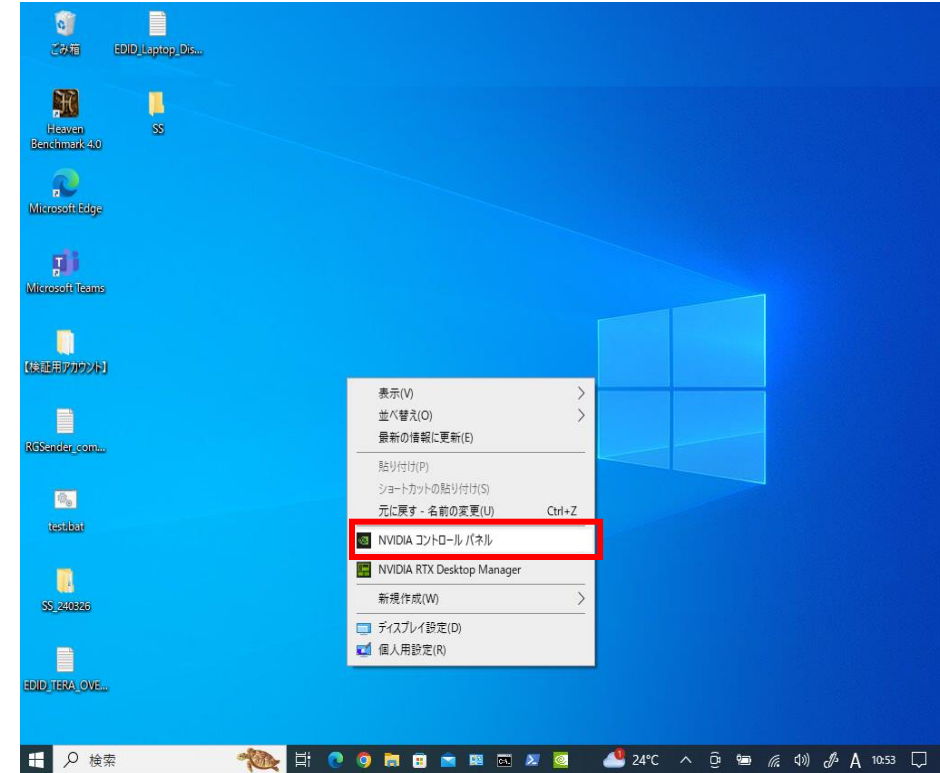


(6)
「3」を押して「3) 低解像度ビデオを有効にする」を選択しますと、自動的に再起動されます。



エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまった場合の復旧手順 - 4

(7)
低解像度でWindowsを起動し、画面表示が回復します。
起動後、デスクトップの何も無いところでマウスを右クリックし、NVIDIAコントロールパネルを起動します。

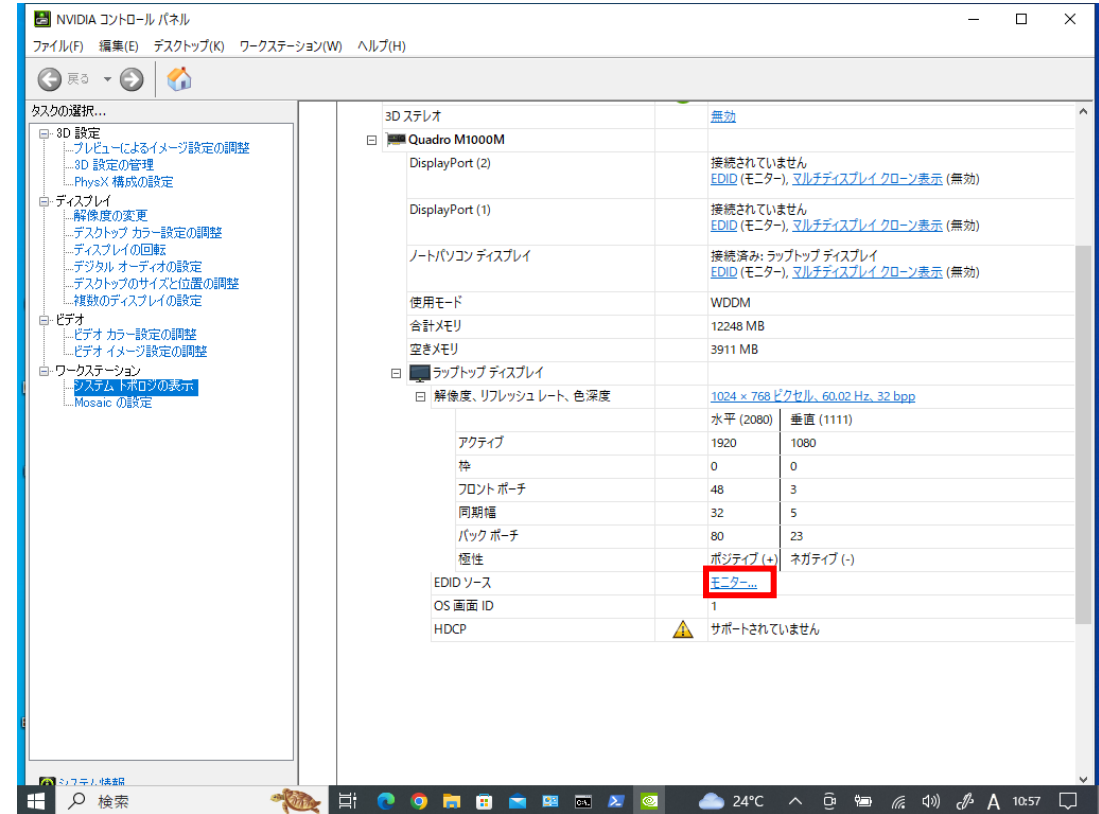


エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまう場合の復旧手順 - 5

(8)
左ペインの[ワークステーション]-[システムトポロジの表示]をクリックし、右ペインの該当のモニターのツリー配下にあるEDIDソースの値を確認します。

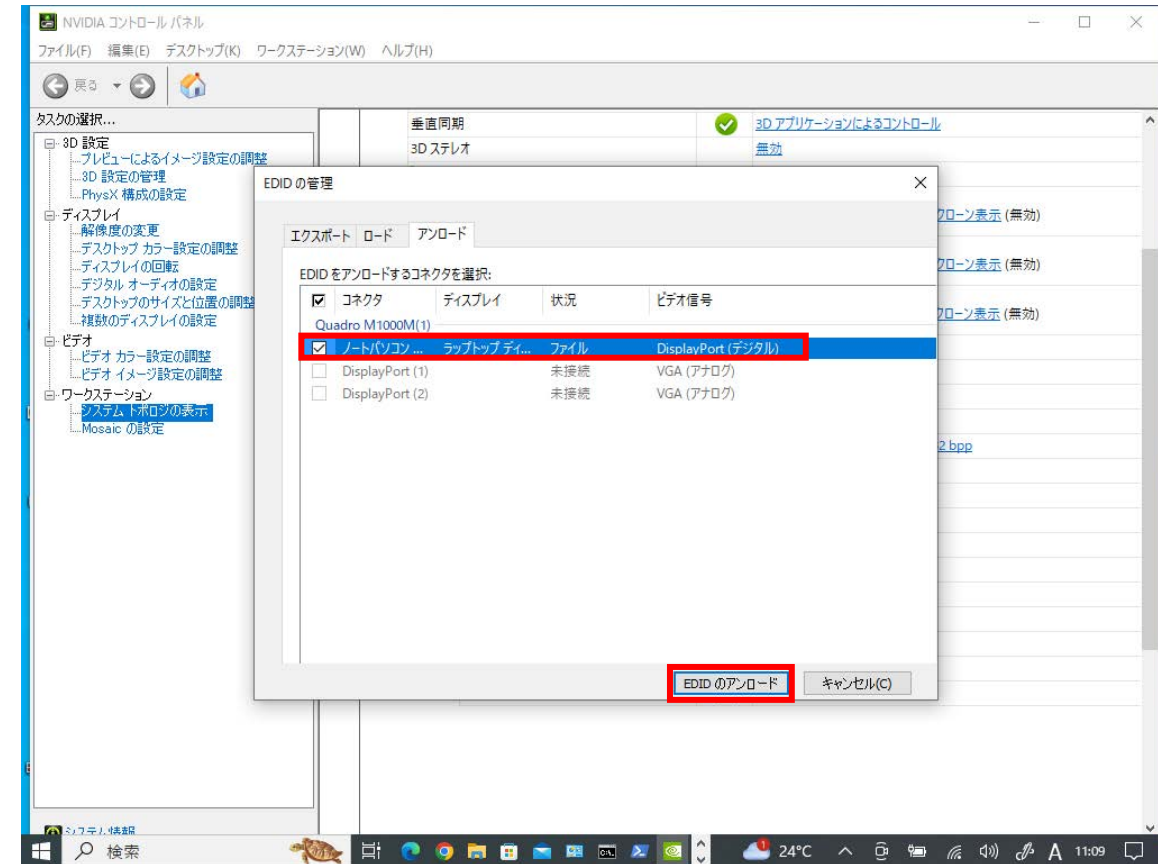
「ファイル」の場合：「ファイル」のリンクをクリックしてから手順(9)に進みます。

「モニター」の場合：手順(12)に進みます。



エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまった場合の復旧手順 - 6

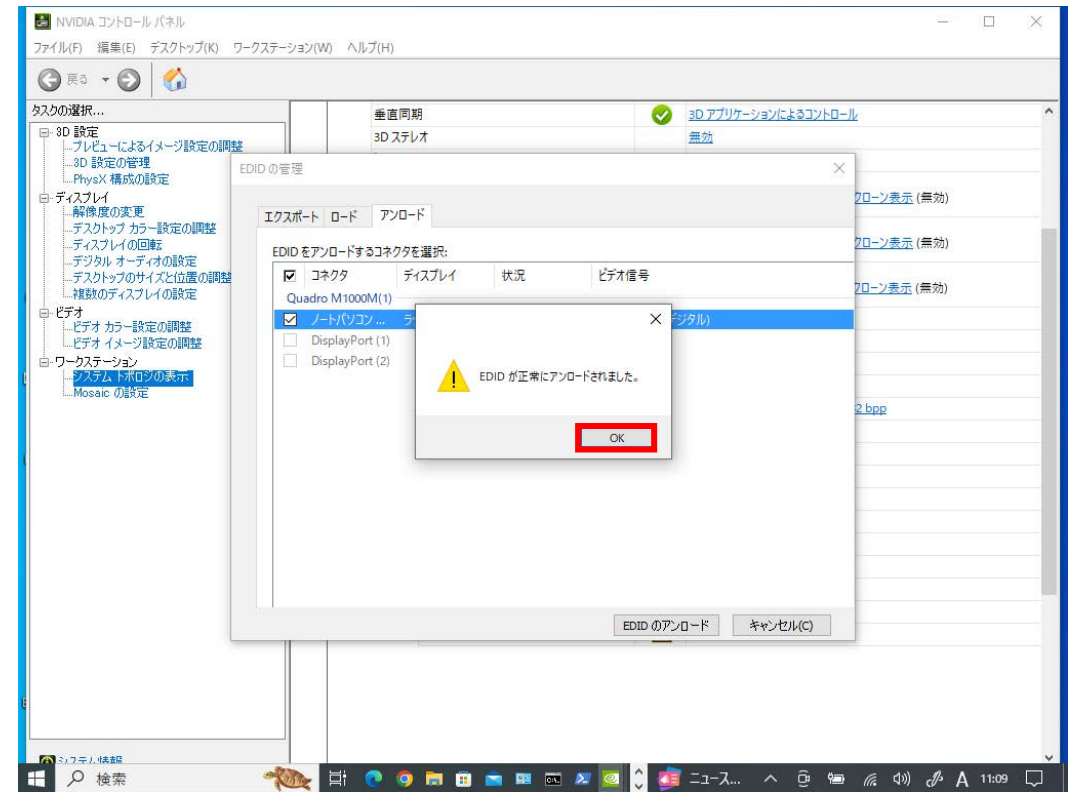
(9)
EDIDの管理ポップアップが開きますので、「アンロード」のタブをクリックし、該当のモニターのチェックボックスを有効にしてから「EDIDのアンロード」をクリックします。



エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまう場合の復旧手順 - 7

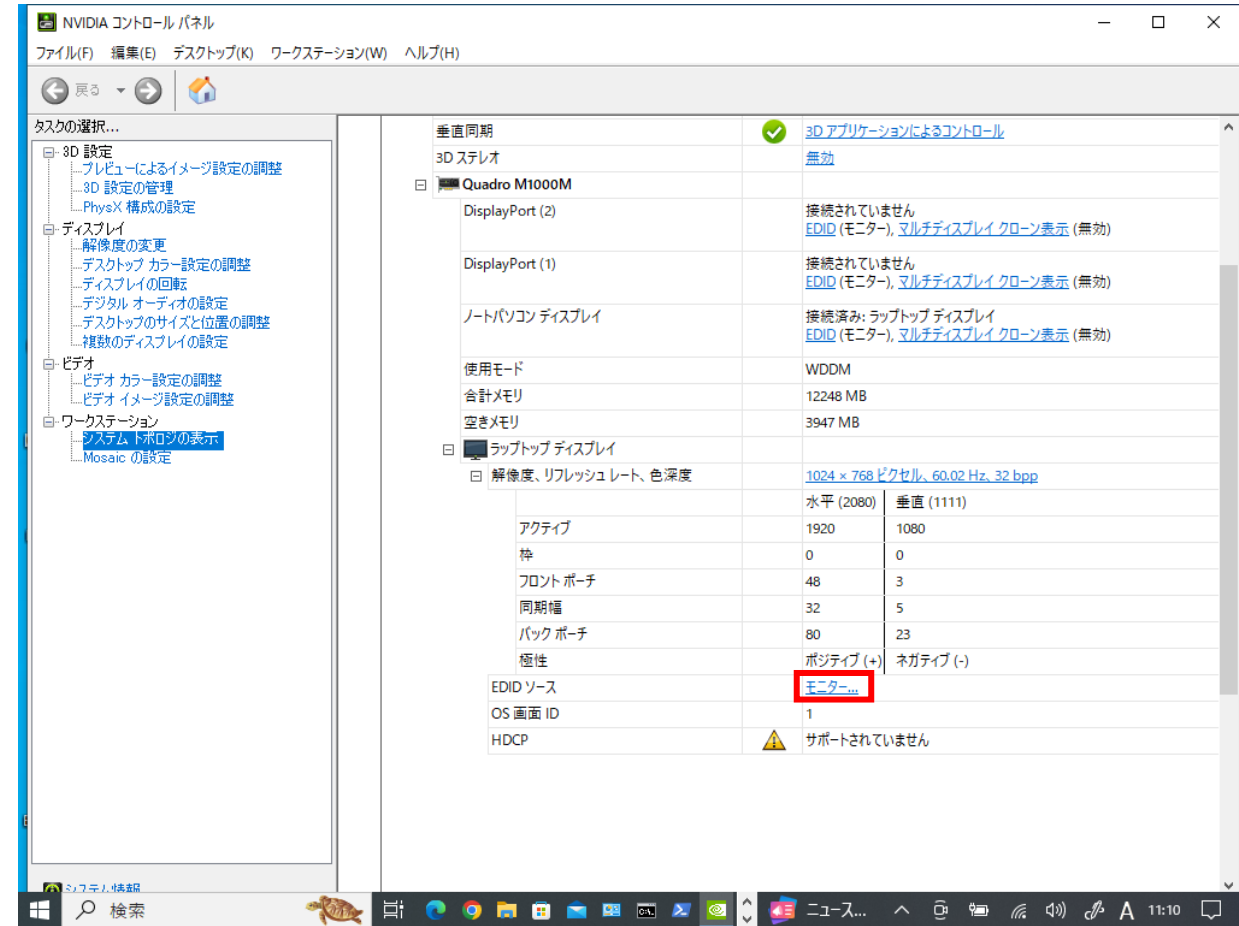
(10)

「EDIDが正常にアンロードされました。」の表示を確認し、OKをクリックします。



エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまう場合の復旧手順 - 8

(11)
システムトポロジの表示画面に戻り、EDIDソースの値が「モニター」になっていることを確認します。



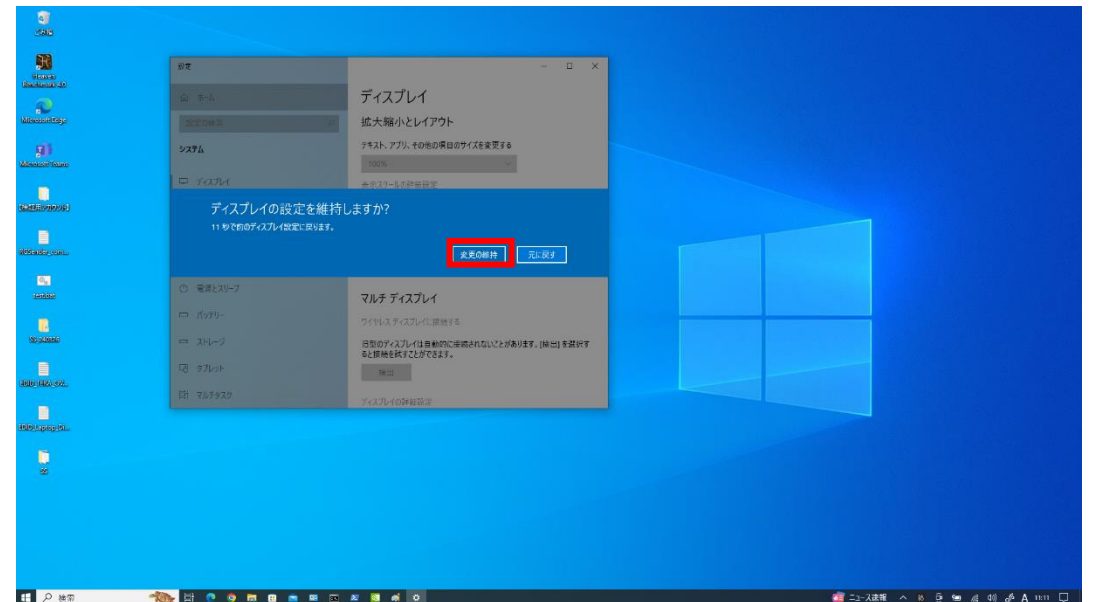
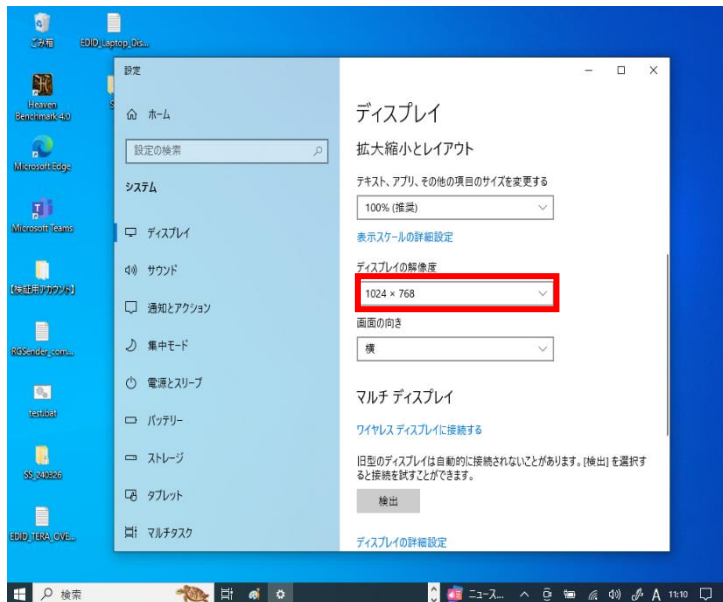
エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまう場合の復旧手順 - 9

(12)

Windowsのディスプレイ設定で、ディスプレイの解像度を元の解像度に戻します。

(13)

設定後の解像度で画面表示されていることを確認し「変更の維持」をクリックします。



エージェントマシンのモニターが黒画面から戻らなくなってしまった場合の復旧手順 - 10

(14)
マシンを再起動し、変更後の解像度で起動されることを確認します。

※復旧しない場合は、Windows復元ポイントからのリカバリをお試し下さい。

エージェントマシンの解像度が変更不可になった場合の復旧手順 - 1

Anywareエージェントをインストールすると、以下画面のとおり、Windowsのモニター解像度設定がグレーアウトして変更できなくなってしまう場合があります。

この状態に陥ってしまうと、たとえAnywareエージェントをアンインストールしてもグレーアウトが解除されませんので、以降の手順で復旧します。

ディスプレイ

🔴 オン

[夜間モードの設定](#)

Windows HD Color

HDRとWCGのビデオ、ゲーム、アプリで、より明るく、より鮮やかな画像を表示します。

[Windows HD Color 設定](#)

拡大縮小とレイアウト

一部の設定はシステム管理者によって管理されています。

テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する

[表示スケールの詳細設定](#)

解像度

向き

マルチ ディスプレイ

複数のディスプレイ

2 のみに表示する

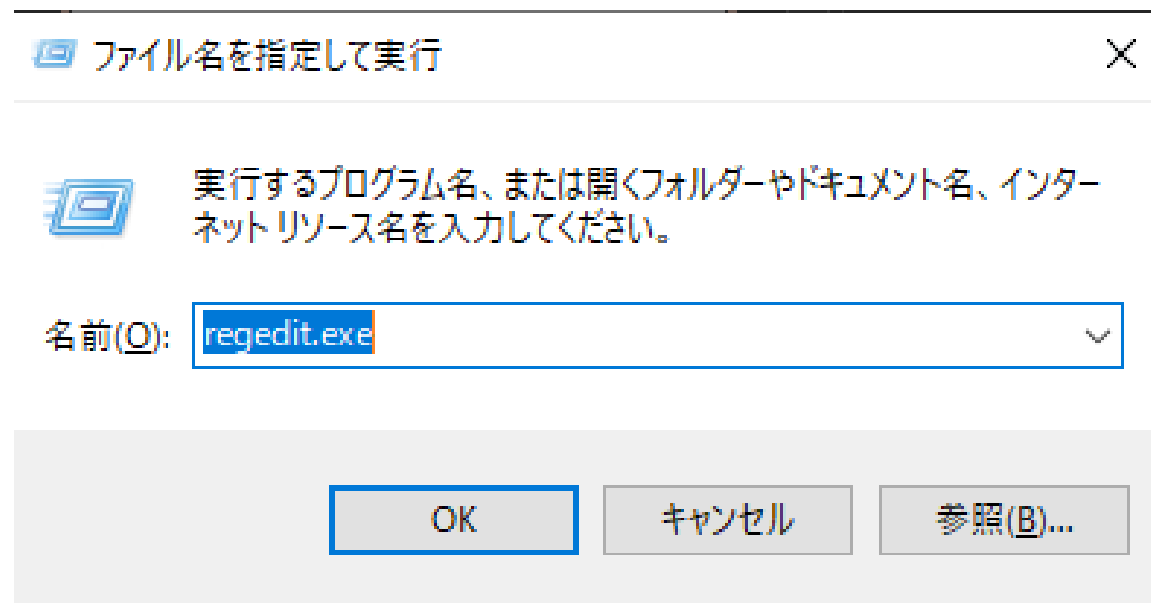
これをメイン ディスプレイにする

[ディスプレイの詳細設定](#)

[グラフィックの設定](#)

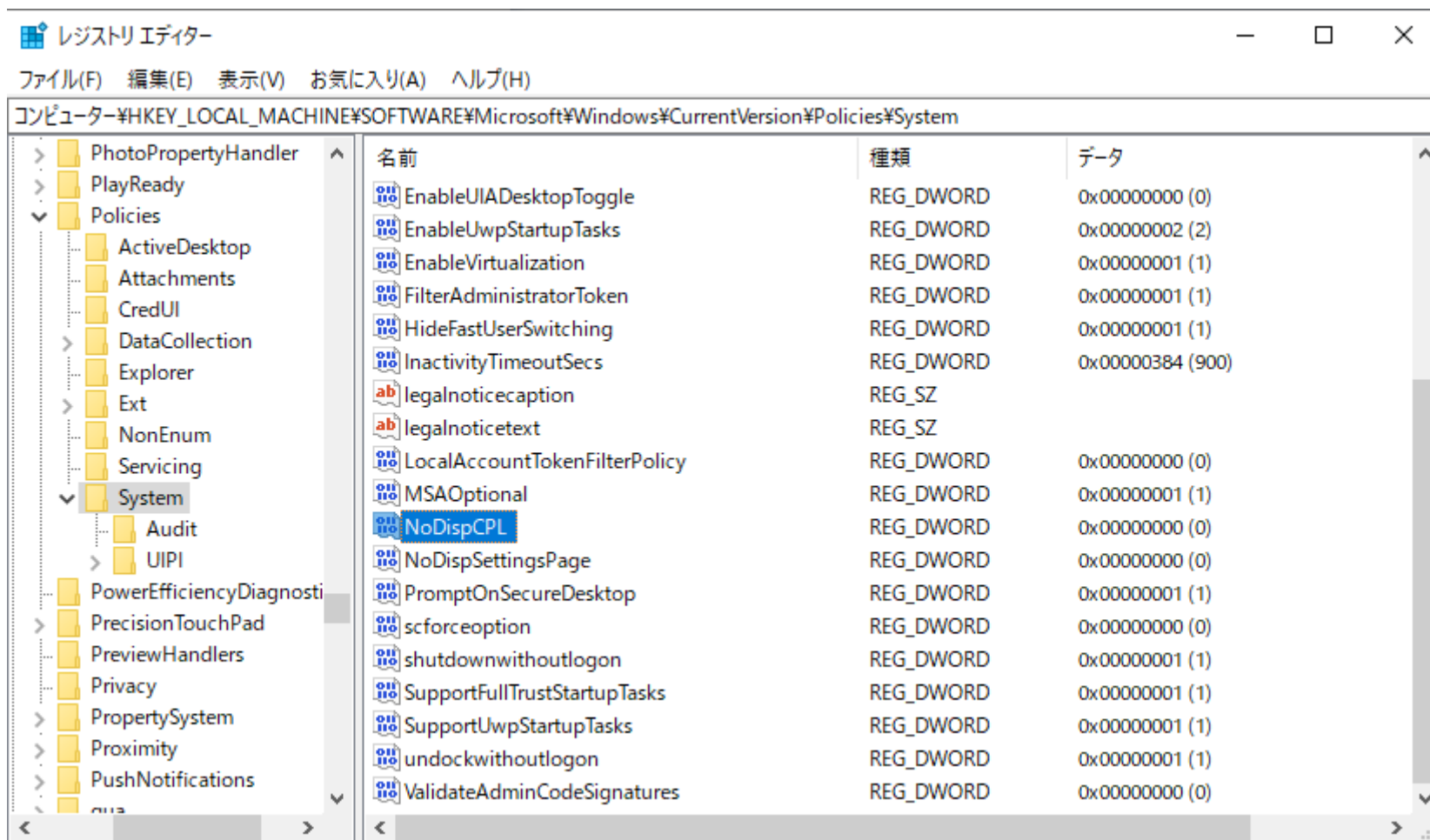
エージェントマシンの解像度が変更不可になった場合の復旧手順 - 2

管理者権限を持つアカウントでエージェントマシンへログインし、[Windows]+[r]キーを押します。→以下画面のダイアログボックスでregedit.exeと入力し、OKボタンをクリックします。



エージェントマシンの解像度が変更不可になった場合の復旧手順 - 3

HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Policies¥Systemへ移動します。

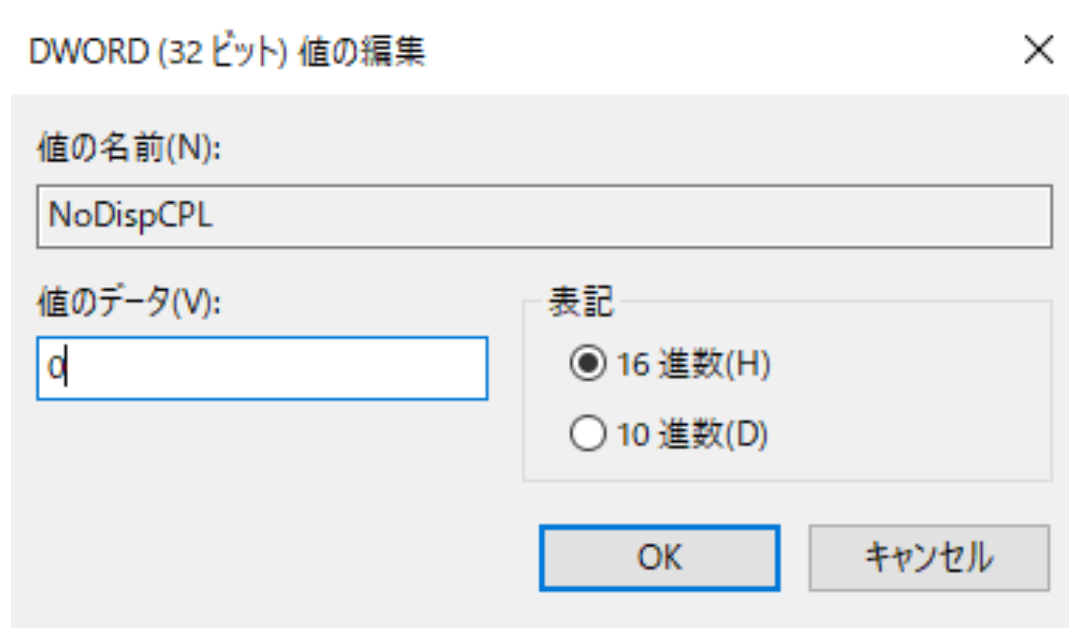


エージェントマシンの解像度が変更不可能になった場合の復旧手順 - 4

右ペインにNoDispCplの項目がある場合は、値を0に設定します。ない場合は、DWORD値でNoDispCplを作成し、値を0に設定します。

→レジストリエディタを終了し、マシンを再起動します。

→解像度が変更可能になっているかを確認します。



ありがとうございました

